

BULLETIN

Kyushu BRANCH

Oct.2025

**The Japan Institute of
Architects Kyushu brunch**

九州で活躍する建築家のための情報誌

CONTENTS

- | | |
|-------------------|---------|
| 支部長挨拶 | P.02 |
| 建築家大会 2024 別府 ウラ話 | P.03-25 |
| 本部・支部事業委員会報告 | P.26-40 |
| 地域会報告 | P.41-70 |
| 編集後記 | P.71-72 |

支部長挨拶



佐々木 寿久（九州支部長）

2024年4月の支部長就任より1年以上が経ちました。JIA九州支部は2024年度【建築家大会2024別府】大会に、支部一丸となって取り組んでまいりました。通年行っている支部大会・建築塾を延期し大会に備え、11月28日から11月30日まで大分県別府市のビーコンプラザを主会場に3日間にわたる日程を終えました。来場の皆様、団体・法人・個人協賛の皆様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

そして何より成功に導いて頂きました実行委員会・会場で担当して頂いた会員の皆様には、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。九州支部の一体感は各地域会の垣根を超えて力強く、JIA九州支部長として誇らしいものでした。一年を超える時間をかけて盛況に終えたことは、何より達成感を強く感じる事が出来ました。

【建築家大会2024別府】

大会テーマ：建築の未来

大会日程：2024年11月28日(木)～30日(土)

開催会場 別府国際コンベンションセンター

「ビーコンプラザ」、アートプラザ

参加人数 680名（登録者） 協賛企業 192社

（大会プログラム）

□ JIA マンス（WEBセミナー）

□別府温泉街探索 まち歩き・まちづくりワークショップ

□シンポジウム1 「注目の若手建築家による建築討論」

□シンポジウム2 建築の未来 I

「偉大な先輩建築家に学ぶIX 磯崎新とは」

□シンポジウム3 建築の未来 II

「だれも知らない建築のはなし」

□建築家のあかりコンペ2024 2次審査+表彰式

□ウェルカムパーティー

□シンポジウム4 「熊本から考える災害と未来」

□シンポジウム5 「大分から考える木造と未来」

□法人協力会サミット

□国際シンポジウム「International Presidents' Forum」

□大会式典

□シンポジウム6 建築の未来III「講演会×クロストーク」

□名誉会員の集い

□レセプションパーティー

□展示・エクスカーションS・1・2・3

2024年度支部活動としまして、第30回デザインレビュー・第2回九州建築新人賞を行い新しい世代への教育・表彰活動も行なってきました。学生の皆様や次世代の方々にもJIAの活動を知ることで本会の活性化に繋がればと思っています。時間を要しましたが熊本地震記録紙の編集も終え3月末に発刊となりました事をご報告いたします。一度手に取ってご覧ください。災害時に建築家としてどのように行動すべきか、またその後の活動などを記録していますので参考になればと思います。

5年前、副支部長を拝命されて以来、建築基準法改正、省エネ法改正と度重なる法基準の変革と働き方改革、取り巻く環境の変化が激しくなっています。1年前にJIA九州支部長を務めてからも、このことは中心議題でした。更にDX化とBIMへの移行と建築家が取り組むべき問題は多くあります。JIAはこの問題にも特別委員会やワーキンググループを作り議論を繰り返してきました。本部・支部のホームページ等から各セミナーや関係書籍の案内をおこなっていますので是非参考にされてください。

2024年度を振り返れば、能登半島の地震、豪雨災害をはじめとする自然災害は、この国の災害は更に強大になってきています。最近では極端な乾燥を発端とする山火事が各地で起こり、地震・火災・水災・風災と今を生きる私たちに何かを見つめ直す事を問われている感じがします。建築に何ができるのか今一度考えてみる機会だと思います。

2025年度も物価高騰からくる建築コストの上昇・人材不足の問題にも焦点を当て会の運営を行なってまいりますので、是非皆様の意見を頂き今後の活動に生かせていくべきだと思います。九州支部全員参加のできる場を作りたいと思います。新しい年度が始まります、くれぐれもご自愛頂き建築設計業界が発展することを期待しています。

14年ぶり九州での大会を終えて

今回の別府大会を大会委員長として、迎えられたことは大変名誉な事だと思います。直前の4年間を九州支部長として拝命を受け、絶余曲折ありながら運営にかかわりました。支部長退任半年での大会は、私のとってもタイミングの良いものでした。本音を言えば、更に大変さが増した感じもありました。しかし九州支部実行委員会の皆さんのお陰で、盛況の大会となった事を心より感謝しています。

この大会は日頃、建築設計業界で生きている全国の建築家にとって実のある物でありながら、年に一度、一堂に会してリラックスできる、そういう大会にしたいと考えていました。勿論、大会のプログラムの魅力と内容は重要です。しかしこの建築家大会が年に一度、全国から；人；が集まる事も楽しみの一つだと思います。真剣な議論をして、そして温泉に入り、お酒を楽しむ。大会を別府市に定めてホントに正解でした。九州の良さを体感できるそんな街でした。私自身は飲みすぎて、温泉には入れていませんが。

今回、大変だったのは、テーマを；建築の未来；と定めたことで、シンポジウムなどのプログラム内容が、解釈の幅が広くなりすぎました。未来のテクノロジー的な発表の場にはしたくない、建築の過去から未来に向けての振り返りと、歩みをイメージしていました。そのことをプログラムやテーマで表すことは難儀でした。結果、実行委員会・企画の方々にはご苦労かけました。しかし、すべてのプログラムは素晴らしい内容でした。ありがとうございます。もう一つ苦労した点は、本部の意向と支部の意向の調整です。大会運営費を最小にして今後へ繋げたいとの本部意向もあり、当初はミニマムの大会と進めていましたが、；もてなし；の気持ちと熱い気持ちの九州！一步も引かない心意気で、最大の；もてなし；となりました。私としては良かったと思っています。

大会委員長 松山 将勝

また、10数年後の次回、九州で大会があると思います。その時大会がどのように変わっているか分かりませんが、この九州の；もてなし；の気持ちちは変わらずにいてほしいです。その時は今回以上に、参加者として楽しめます。今までに福岡市、北九州市、別府市と開催しました。次回は南か東か中央か、今回の経験がありますので大丈夫です。繋げていきましょう。

大会を終えて、一番感じている事は、九州支部の仲間の一体感を深められたこと、それを全国に発信できたこと。自身、いい思い出になりました。重ねて建築家大会 2024 別府を、今の支部メンバーで開催できたことに感謝いたします。



「個と集い」から生まれる力

JIA 建築家大会 2024 別府ではご協力いただきました九州支部正会員をはじめ準会員・協力会員の皆様、誠にありがとうございました。そしてお疲れさまでした。第 2 回実行委員会で突然に実行委員長への就任のお話がありましたときは逡巡しましたが、出来るだけ参加協力したいと考えておりましたことから承諾しました。しかし 1 年半ほどの準備期間中には責任の重さに、その判断を悔むことがしばしばでした。特にコロナに罹患した後は倦怠感もあり、全てを放り出したい状況でした。実行委員会の皆さんのが辛抱強く取り組んでいただいたおかげで、先の見えにくかった期間を乗り切れて各タスクに引き継ぐことができました。個人的には企画を詰めながら色々なお話ができた佐々木信明さんや、総務役でスムーズな実行委員会運営に尽力いただいた下山道男さん達の気心が知れた同年代の存在と、意図を理解してさらにグレードアップした広報を取りまとめていただいた有吉兼次さんの協力が心強く、この場を借りて感謝の気持ちを伝えます。

広報委員会より特集（ウラ話）の依頼でしたが、実行委員長として「出来るだけオフィシャルに」を旨として動いていたつもりでしたし、全てを把握しようとしたことで容量過多により記憶がこぼれてしまい、今となってはここだけの話のようなネタが浮かばず申し訳ないことです。この特集で皆さんのお話を読みながら少しづつ思い出すことします。

九州大会とフグ料理

九州支部長として迎えた別府大会は、私にとってフグ料理リベンジ大会となりました。前回の北九州大会の際は、先輩方の話としてフグの大皿を；大人取；（大皿の上の薄切りフグ刺しを箸でくい削ぎ取る取り方）で食べたと言う伝説を聞いていました。まだ若かったそのころの私は、懇親会会場までは行っていたのですが、中に入れず・・・食べられず・・・フグ料理にはそのような思い出があります。しかし今回、北海道支部からの旭川大会に向けて、運営と予算概要を享受頂きたいとの依頼がありました。今大会前夜、大分名産のフグ料理のお店で 1 時間ほどの会議の後、懇親会にて念願のフグを頂く事が出来ました。

実行委員長 川津 悠嗣

今回の経験で JIA のいいところと限界を再認識しました。JIA は個人の集まりです。その個人同士がお互いを尊重しあうことで初めて力を発揮できる会だと思っています。それが出来ないようでは会としての意味も未来はありません。また、個人の負担が大きすぎるのも、改善すべき点として毎回感じるところです。

対面で語り合うことの価値は今後も変わらないでしょう。十数年後にまた大会の担当地域になるとしても、その際考えられる新しい形の大会を模索して、みんなで議論を行い協力しあうことを期待します。



実行副委員長 佐々木 寿久

14 年越しのリベンジを果たした別府大会は、大会プログラム同様に良い思い出となりました。年に一度の全国大会は、全国各地で行われます。その際、大会プログラムも大事ですが、思い出となると各地の食事は色濃く覚えているものです。岡山のソースかつ丼；金沢の海鮮丼；徳島の祖谷そば；と多彩です。

大分県多くの食文化が存在しますが、やはり高級料理のフグを食べられた事は、北九州での思いも相まって、特別なものとなりました。

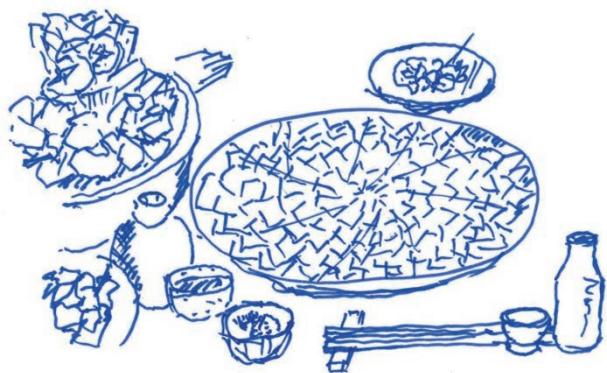
別府市は、仕事で何度か訪れたことがありましたが、夜の街は初めての経験でした。なかなか面白いお店が多く、狭い路地と温泉のにおいが、なんとも言えない風情を感じ

させてくれます。今回の大会も別府の力を十分に感じました。来場者も盛況だったのは、そのことも手伝ってくれたのでしょう。

次回九州での大会もその地の特色を生かした、ならではの大会にしてゆきたいですね。九州は良い食に恵まれていますので、その地の食べ物も楽しみにしています。

裏話なので本大会については触れませんでしたが、素晴らしい大会でした。

改めて九州支部の皆さんに心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



「別府の夜」担当

私は副実行委員長ということで色々と役割は有りましたが、別府出身という事もあり、「別府の夜」を準備させて頂きました。大会前日は実行委員会の夕食会場を押さえると同時に2年後全国大会予定の北海道支部との情報交換会の為、知人のお店を押さえて私はそちらに参加しました。冬の大分ということでフグを頂きながらの交流会とし、北海道の仲間にも大変喜んで頂きました。その後2次会でオールディーズバンドの入った大箱のお店で、実行委員会の皆さんと合流し、明日への活力をしっかりチャージしました。

大会初日はウェルカムパーティー後に、「JIA バンドパーティー」を開催するので、会場として知人のライブハウスを押さえて四国支部長の伊月さんと数か月前から準備をしました。いかがわしい匂いのする地区にあるライブハウスで（良い意味で）、参加者には別府のディープな部分を感じていただけたと思います。当日は大会委員長である松山さんの誕生日であったため、最後はサプライズで佐藤会長のサックスとともに参加者みんなでお祝いをして、アットホームな夜が更けていきました。もう一方の夜の街も、安心して飲める店を5,6件ほど紹介させてもらいましたが、皆様が利用されたかは確認しておりません。

大会2日目は杉乃井ホテルでのレセプションパーティー

実行副委員長 福田 哲也

後の「JIA 九州ナイト & 全支部大集合」を初日と同じライブハウスで準備しました。各支部ナイトを終えた全国の仲間が集結し、基調講演をしていただいた重松象平さんも最後まで皆と交流し、JIA 全国の中間のすばらしさを実感する夜になったのではないでしょうか。解散後は、締めのラーメンやうどんを食べに別府の街に散らばっていく JIA 会員を誇らしげに見送って「別府の夜」担当業務は無事終了しました。改めて、参加の皆さんに別府の夜を楽しんでいただけたことを願っております。またお越しください。その際はディープな別府をご案内します。



開催地 地域会長として

大会実行副委員長として複数のタスクに関わりましたが、ここでは「開催地 地域会長」としての立場で記させていただきます。

開催地の決定は 2023 年 7 月の第 2 回実行委員会で採決されました。そこに至るまでは、支部執行部や役員からのご意見、地域会会員の声のとりまとめなど、いろいろと紆余曲折がありまして・・・詳細は控えますが、この開催地決定までが、ある意味最も大変だった気がします。(ウラ話としては、この詳細が面白いかもしれませんが…止めときます。)

最終的には、松山支部長（当時）や支部執行部の熱意、そして支部・大会実行委員が中心となって準備・開催にあたるというお話を受け、大分地域会としえも了承のうえで、お引き受けすることとなりました。

おかげさまで、準備段階では大分地域会会員に特段の負担はなく、実行委員 + α （重田、竹宮会員・スタッフの若松さん）の限られたメンバーで、ほとんどのことに対応することができました。（この 3 名は終了後もしばらく走り回りましたが（汗））

大会前日および期間中には、実行委員だけでなく、日帰り参加の大分地域会会員を含む九州支部各地域会会員の皆様にご協力いただき、「やると決めたからにはいい大会にしよう」という九州支部会員の一体感を強く感じました。

おそらく二度とないであろう建築家大会の地元開催が大変

実行副委員長 重田 信爾

な盛会になったのは、開催地地域会会長として非常に光栄なことでした。これもひとえに、松山大会委員長をはじめとする実行委員の皆様、そして各地域会会員の皆様のおかげであり、開催地という大役を引き受けた地域会長を見放すことなく全面的に協力していただいた大分地域会会員の皆様のおかげと思っています。皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

追伸。最終日の片付けの際に手配頂いてお弁当。自分の分を食べたにもかかわらず、余った分を開催地特権（？）で持ち帰り、しっかりと体重へと変換させていただきました（笑）（あまり写真を撮っていなくて、お弁当の写真でご了承下さい。）



28回も開催した実行委員会

2023 年 6 月 26 日の第 1 回実行委員会から 2025 年 2 月 20 日までの間に 28 回もの会議が開催されました。会議の進行を担当したが、会議時間は 1 時間半の予定で始まるが 3 時間から 4 時間と予定時間の 2 倍以上の長さとなってしまい、田島さんや和田さんに毎回お叱りを受ける始末。実行委員会用の資料をタスク長に依頼し、3 日前までの提出をお願いしても届くのが会議の前日。川津実行委員長と資料をまとめ、委員への配信は前日の夜か当日の午前中。3 週間ごとの開催はあつという間で、気付いたら建築家大会の開催日。委員会は大会後も続き 28 回も開催していました。

統括タスク 下山 道男

大会期間中は式典を担当し、作田さんが映像で私はタイムキーパー。リハーサルも分単位でスケジュールが決まっていたので、佐藤尚巳会長が原稿を全部読みたいと駄々をこねたが、立ち位置だけ確認して降壇してもらった。

式典が始まる 2 分前に KIRA の会長が挨拶をしたいと言い出したので、水本さんに対応を任せ司会者にキューをして式典スタート。時間通り進んでいたが名誉会員の表彰で尚巳会長が一人ずつ記念写真の撮影をやりだし、リハーサルでの仕返しをされ大幅に時間オーバー。佐々木寿久支部長の挨拶の内容を短くしてもらい 2 分オーバーで式典終了。無事、健一郎さんに引き継ぐことが出来ました。

ウェルカムパーティーでは会場前のホールでドリンクサービス担当。地域会からの銘酒を、三迫さんの指揮で焼酎、日本酒を並べ来場者へロックや水割りで飲んでもらい九州をアピール。パーティーが始まるころには三迫マスターのショットバーは常連客のような人たちで大繁盛でした。

建築家大会が終わってみれば九州支部の正会員の約半数が参加し、協力会員の参加も 100 社近くあり支部全体で盛り上げた建築家大会でした。

これは 28 回も実行委員会を開催した成果だったと思います。



宿奮闘記

委託タスクでは、宿泊ホテルの手配（担当：塩釜）とビーコンプラザ備品の手配管理（担当：久壽米木）を行なった。私が担当した宿泊手配は、全国の参加者用の宿泊先の確保を 4 月頃から西鉄旅行に依頼し始め、また大会スタッフ用のホテルの確保は、手当たり次第に電話にて行った。大会が 11 月下旬開催のため、温泉シーズンであること、別府市内にシングルユースのホテルが少ないとから、まとまった宿泊数を確保できるホテルが少なく、焦りながら大会スタッフ予定者の集計を行い、ホテルの確保に奔走した。特に苦心したのは、喫煙室のホテルの確保であった。駅前のホテルは全て、禁煙室のみで手に汗握りながら、次々に電話をしていった。登壇者用のホテルに関しては、大会直前まで変更や未確定が続き、宿泊 1 か月前からキャンセル料が発生する中、ヤキモキしながら対応に追われた。そんな中で、重松象平氏のハプニングが最も印象に残った。実行委員会の決議で、重松氏の宿泊費は謝礼金の中から本人に支払ってもらうこととなっていたが、チェックイン時に

委託タスク長 塩釜直人

同氏が支払いを拒んだため、大会側が支払うこととなった。秘書を通じての対話の難しさが、反省点となつたが、その他は円滑に全日程を終えられた。

実行委員会の皆様、関係者の皆様に感謝いたします。お疲れ様でした！



見届けられなかつた本番に寄せて—企画タスク長の裏話

僕は、建築家大会 2024 別府開催前日の 11 月 27 日、別府入りしてわずか 1 時間ほど会場のビーコンプラザを確認ただけで、急きょ島原に戻ることになってしましました。

長い準備期間を経て、ようやく迎えたはずの本番を、現地でともに過ごすことができなかつたことは、正直今も残念でなりません。

その一方で、大会終了後に多くの仲間から届いた言葉—「大盛況だったよ」「本当にいい大会になった」「楽しかった！」「レセプションパーティーの食事も大好評！」という声に、心が救われるような気持ちにもなりました。

僕はその場にいなかつたけれど、確かに自分もこの大会の一部だったと感じさせてくれました。

僕の役割は、企画タスク長として、大会全体のコンセプトづくりとプログラムの骨格を組み立てること。大会テーマ「建築の未来」には、持続可能性、地域社会との関係性、そして大分出身の世界的建築家・磯崎新の思想に触れながら、建築の継承と問い合わせなど、多くのテーマが交差していました。

それらをどのようにひとつの軸にまとめ、実行委員会で共有しながらかたちにしていくか—そこが最初の大きな山場でした。

このプロセスの中で、実行委員長である川津悠嗣さんの存在は本当に大きかったと、今振り返って強く感じます。コンセプトメイキングの初期段階から、抽象的な言葉を丁寧に受けとめ、文脈を読み解き、時に的確な指摘で方向性を示してくださったことが、僕にとっては大きな支えでした。

企画立案の段階ごとに不安や迷いを感じたときにも、川津さんの落ち着いた判断や視点があったからこそ、ブレずに最後までやりきることができたのだと思います。

実行委員会全体としても、展示、広報、市民連携、シンポジウムなど、それぞれのタスクが建築家の職能を活かしながら連動し、ひとつの有機的な大会へと成長していった過程は、まさに建築を思考する事とそのものでした。

企画の初期段階では、川津さんとアイデアやキーワードが飛び交い、時間帯も休日も時間帯も関係なく議論を交わし実行員会の企画会議に臨みました。

実行委員会のメンバー一人ひとりが「この大会をよくしたい」という思いで動いていたからこそ、目指していた景色

企画タスク長 佐々木 信明

に辿り着けたのだと思います。

僕は本番を見届けることはできなかつたけれど、そこに至るまでのプロセス—

つまり「構想した企画内容がかたちになり、人と建築が出会い場が生まれる」までの道のりこそが、自分にとっての大会でした。

そこに関わることは、間違いなく建築家人生の中でも特別な経験だったと感じています。

そして、今回の大会を実現するにあたって、力強く後押ししてくださった大分県・別府市・ビーコンプラザのスタッフの皆様にも、心より御礼申し上げます。

特に大分県・別府市には、大会開催にあたり大会運営の助成金をご支援いただき、地域と連携するこの大会の基盤を力強く支えていただきました。

行政と建築家が手を携え、社会と未来を語る場を共有できることは、大きな希望でもありました。

最後に、実行委員会とともに走ってくれた仲間たちへ。あの舞台裏を知っている皆さんのがいたからこそ、この大会は“建築の未来”を体現する場になったと思います。参加できなかつた僕だけど、それでもこの大会を“自分も参加した大会”と言える。

皆さん、本当にありがとうございました。そしてお疲れさまでした。



備品の迷宮を抜けて

委託タスクの私の担当は「ビーコンプラザ備品の手配管理」ということでした。

着手当初は10種以上の各タスクから送られてくる備品リストをどう整理すれば良いかで悩んでしまい、とりあえずタスク毎の備品一覧表を作成してみました。

このおかげで大きな部分での取りこぼしは何とかなるかなと思っていたのですが、備品によっては細かなスペックの違い等の問題が…。

最終的なチェックについては、ビーコンプラザの千知岩さんとそれぞれのタスク長と直接やり取りしていただく場面もありましたが、皆様の協力のお陰で大きな失態もなく乗り越えられたかなと感じています。

委託のメイン役割としては、開催前にはほぼ終えてしまっているので、設営初日は裏口からの器材搬入等の交通整理を終日行うなどしておりました。

不安を超えて黒字へ

建築家大会は、財務タスクで参加させていただきました。九州大会は、2010年（平成22年）の北九州大会以来14年ぶりとの事で、当時の記録や記憶の拾い集めから始めました。因みに、前回大会はエクスカーションの企画運営の担当でしたので、財務に関しては初めての経験でした。又、当初の叩き台となる概算等は、近年開催された大会の資料等を元に、統括メンバーの下山さんと相談しながら算出させていただきました。

5年程、支部の会計を担当させてもらっていました。年間約1000万円で運営している会で、2000万円以上の大会を企画・運営する事が、今回の一番のポイントでした。大会の企画は、どれだけ参加者が集まるか全く不明な状況で1年をかけて行われます。コロナ等の疫病や天災、ウクライナやイスラエル等、世界中で勃発している社会問題等による経済の影響等、何かと足元の不安定な状況での船出でした。緊縮開催で始まった企画も、日に日に大きくなり、お金を預かる身としては、非常に不安の大きな期間でした。

皆さんが積極的に企画をされているのに水を差すのも・・・との思いと大きな不安との戦いでした。

委託タスク 久壽米木 和夫

最後に、大会を通じて実行委員長を始めとする実行委員会の皆様の活動量に改めて驚かされるとともに、大会の成功を衷心よりお喜び申し上げます。お疲れ様でした。



財務タスク長 松島 逸人

それでも夏になり、寄付等の支援が広がった事で少し不安は和らぎました。

因みに、支部には常時まとまったお金はありませんので、いよいよ足りない場合は責任をとって、役員で手分けしてまとまった金額の損失の補填をしないとの覚悟で、いよいよ勝負の募集となりました。

蓋を開けてみれば、不安は一掃され、黒字開催となりました事、感謝しております。

ありがとうございました。



JIA 建築家大会 2024 別府大会（ウラ話）について

私は実行委員でしたが、主だった働きはしていませんが、実は前回の北九州での全国大会の時に主力として働きました。

数年前のコロナ騒動で全ての集まりが中止となり、その後行われる行事などは様子が変わったように思います。また、簡素化でお金をかけなくなったように思います。ただ、大事なことは、全国大会を通して JIA をこの機会に世の中に知ってもらう絶好のチャンスだと思っていました。今回は極めて内向きで、広報活動も会員向けで、資金集めも会員・協力会のいわゆる仲間内で行いました。これでは世の中の人々が知ることはできません。今回の大会は、実行委員の私を含め、実行委員全員で決めたことなので今更意見を言ったところでどうにもなりません。

前回の北九州大会の時から思っていましたが、全国大会は会員中心で行なうことは当然ですが、東京とは違い、地方の場合は地元企業との繋がりを持っていないと仕事もでき

財務タスク 和田 正樹
ないと思います。その企業の方々に「こんな素晴らしい全国大会を行っています」とどんな形でもいいので支部の一人一人の会員が自分の繋がりのある企業の方々に知らせてほしかったと思います。



会場に“デザイン”を宿す

本大会では会場エントランスロビー周辺の会場構成を担当しました。様々な地域からお越しいただく全国の会員の方に、わかりやすく会場を案内できる事、今回導入した受付システムについても対応しながらスムーズに会場が回れるように、繋がりあるブース構成をみなさんの知恵を頂き試行錯誤しながら進めています。

せっかく別府まで来てもらった方々に、より一層楽しんで頂くために、福岡地域会で毎年行っている建築展を併催する事にしました。建築家大会らしい賑わいを付け加え、多くの皆さんから評価を頂きました。建築展は模型を主体に構成したこともあり、別府地域の方や子供達など、様々な人が訪ねてもらえるきっかけにもなりました。

最終日、ビーコンプラザ施設管理の人からも評価をいただいたのか、当日使っていた組み立てシステムの展示台と

デザインタスク長 村上 明生
開催中館内に流していた BGM を気に入って頂き、そのままビーコンプラザへ寄附をしてきました。



建築家大会を終えて（誘導タスク）

建築家大会は、じつは 2010 年に開催された北九州大会も当時見に行っていて、その時は全国の建築家が集まる凄いイベントだなあ、と思っていましたが、今回は運営側で携わることで、改めて大会の奥深さを感じることができました。

私は当初、会場デザインの担当でしたが、ほとんど（というか全部…）村上さんに動いてもらいまして、当日は会場での誘導全般を担うこととなりました。

誘導タスクは、大分地域会の皆さんと手分けして、別府駅とメイン会場の出入口で待機し、各部屋への案内と、レセプション会場や別府駅への貸切バスのコントロールがメインでした（こちらも重田さん竹宮さんにかなり助けてもらいました…）。レセプションの後のバスへの誘導では（酔って良い気分になった）全参加者を効率よくバスに乗せなければいけなかったので大変でしたが、大きなトラブルもなく終えることができほっとしました。

さて、こういった大会は、建築士会など他の団体でも行われていますが、一年以上前からかなりの会議を重ね、詳

デザイン・誘導タスク 川崎 康広

細な資料でシミュレーションを行う熱心さは、JIA ならではの特徴で感心させられました。また 10 年ほどしたら九州に巡ってくるかと思いますが、それまでは他の支部の大会を楽しみたいと思っています。

みなさん、本当に疲れ様でした。



レンズ越しの熱気

私自身、他団体含めて全国大会の実行委員を務めることも初めてで、ましてや広報委員となり、果たして自分に務まるのだろうかと不安に思うことが多かったのですが、幸い（？）にも普段押入れにしまったままの一眼レフカメラがあったため、カメラと根気でならなんとかお役に立てそうかなと思い、当日を迎える覚悟を決めました。各シンポジウムや企画の様子はプロのカメラマンにお任せして、私は実行委員や当日スタッフの皆さんに準備や運営で頑張っていらっしゃる姿を中心に撮りたいと思い 1 日中会場内を歩き回っておりました。大会後にふとスマホの歩数計を確認すると 2 日間で計 40,000 歩を記録していました（ちなみに普段は 1 日 2,000 歩程度しか歩いていません…）。体力には自信がありましたが、さすがにこの 2 日間の夜は気づけばホテルで倒れ込むように寝ていました。特に印象に残っているのは大会 1 日目・2 日目にカッパーレイブンスで行われた「九州ナイト」で、私は撮影のため 2 階からカメラを構えていましたが、会場に来られたみなさんが

広報タスク 古賀 隆寛

笑顔で楽しんでおられる姿が印象的でした。またフライヤーも作成させていただき、普段支部から送付される各企画のフライヤーのデザイン性の高さゆえプレッシャーを感じていましたが、作成したフライヤーは当日会場にも置いていただき、良い経験ができました。本当に疲れさまでした。



広報タスク 5人のクリエイティブ裏話

広報は、「JIA 建築家大会 2024 別府」の魅力を広く伝え、多くの方に興味を持っていただき大会に参加に参加いただくことが役割ですが、実行委員の皆様も誇りをもって大会の準備に取り組めるバックグラウンドを作りたいとも考えておりました。また DX 時代の現代において今後の建築家大会の広報の在り方を模索し、挑戦した 1 年間でした。広報タスクメンバーは佐賀地域会古賀さんと 2 名体制でしたが、5 名の素晴らしいクリエイターの方々に多大なお力添えをいただきました。それぞれのプロフェッショナル力と熱意に支えられ、大会の広報活動は成り立っています。この場を借りて心より感謝申し上げます。クリエイターの方々との協働は大変楽しく貴重な経験となりました。裏話として 5 名の方の魅力とやり取りを記録いたします。

野口剣太郎さん

(グラフィックデザイナー／SHIROKURO)

“あの赤い矢印で構成された「未来」のサイン”をデザインしていただきました。初案を拝見した際には感動し、実行委員会でも満場一致で採用に。さらに、真っ赤な手ぬぐいや大会当日のミニマムなパンフレット、WEB ビジュアル、報告書にも展開いただき、一貫性があり、記憶に残るデザインが完成いたしました。

上栗望さん

(WEB デザイナー／アトリエサンカクスケール)

九州支部の WEB サイトを長年手がけてこられた上栗さん。支部会員、雰囲気を熟知されており、大会のコンセプト、デザインを反映しつつ、見やすく、使いやすいサイトを実現いただきました。膨大な情報量の整理、何百枚の写真加工など真摯に対応いただき、私の無茶ぶりにも笑顔（おそらく）で応えていただきました。大会 HP に力が入りすぎ、ご自身のお仕事や他にも影響がでたかもしれません。

藤原次郎さん (映像作家／藤原次郎アトリエ)

WEB や全国行脚、会場で流れていた大会プロモーションビデオを製作いただきました。大分在住で別府の魅力や磯崎建築を迫力のある映像で伝えていただきました。撮影のため、何度も現地を訪れ、静けさの映像の中には藤原さんの熱意も映り込んでいます。

広報タスク長 有吉 兼次

南口千穂さん (編集／南風社)

南風社は JIA MAGAZINE の制作を手がける出版社であり、全国の会員に向けた大会 infomation 誌面づくりを約半年間、さらに大会終了後の公式報告書も製作編集いただきました。私が支部でまとめた原稿を、丁寧に読みやすく編集いただきました。入稿直前まで原稿の校正をおこない、深夜、休日にもかかわらずベストな誌面を追求する執念深さは頭の下がる思いです。南口さんの編集力で執筆者の文章が伝わりやすく、生き生きと変わったことを思い出します。月末の締め切りを共に乗り越えました。

伊波サチヨさん

(クリエイティブディレクター／スタジオネオ)

大会期間 3 日間にわたり会場を密着取材していただき、アーカイブ動画を作成いただきました。インタビューでは大会の感想や JIA の魅力に対する本音等々が引き出され、皆さんの個性と重なりあい、見ごたえのある仕上がりになっています。短時間の映像でも、別府の魅力、大会の雰囲気がしっかりと伝わり、JIA らしさも表現いただきました。映像の裏側にある伊波さんの「本音を引き出す」インタビューアが印象的でした。



JIA 建築家大会 2024 別府の会場設営準備に携わって

プレイベントタスク 智原 聖治

今回、開催までの間に行われた実行委員会への参加が出来なく、委員の皆様には大変ご迷惑をおかけしたこともあり、会場準備は積極参加できるよう臨みました。

会場設営当日は、建築展の設営と同時に行われることになりましたが、会場設営担当者と建築展担当者との連携により、スムーズに準備ができました。全て会員の手で行われた事で本大会への JIA としての一体感と団結力が生まれることになったと思います。

後片付けにおいても多少の疲れはあったものの、大会が終わった充実感と達成感を感じながら、皆でテキパキと終えました。

大会を終えて感じたことは、九州支部一丸となって作り上げた大会であったということです。皆様大変お疲れ様でした。



九州の地酒で乾杯！

ウェルカムタスク 松本 隆之

今回のウェルカムパーティでは、全国から別府までお越しいただいた参加者の皆様に、九州各県自慢の地酒を嗜んでいただき、喜んでいただきたいという趣旨で受付カウンターに各地域会から 2 本ずつ準備していただいた地酒の試飲コーナーを設けました。

「地域会の威信がかかっている」(笑) といっても過言ではないこの企画で、当日ぶっつけて本当に集まるのか? と不安しかない当日、いざふたを開けてみると九州の美酒がズラッと並ぶ嬉しい状況に！

全国からお越しの皆様に大変好評だったのは言うまでもありませんが、滅多にお目にかかるれないレア地酒☆、おもてなしの合間に三迫さんと下山さんが呑み交わしていたのを私は見逃していません。

と、いいつつ僕も水本さんと佐賀県の美酒「鍋島」で乾杯！ おいしくいただきました。



式典を通して

大会式典 作田 耕一郎

式典担当しました、作田です。

前日まで来賓者等の読み方などの間違いが多々あり、座席等に貼るふんどしなどの印刷をどうしようかと悩んでいましたが、宮崎さんがカラープリンターで用紙を会場に持ち込んでいただいていたので助けていただきました、有難うございました。また、リハーサルも私の準備不足で時間的な流れや机の配置など何度も変更等を行うことになり、式典担当のスタッフには迷惑をおかけしました。この後のメインシンポジューム担当の田中さんにも迷惑をおかけしたと思います。今後の大会について思ったことですが、昨年の全国大会もそうでしたが、式典会場などが参加者の人数からするとあまりにも広すぎて参加人数がものすごく少なく感じられるので今後は式典やメインシンポジューム等の会場は参加人数にあった会場にされた方が良いのではないかでしょうか。



離れた会場で... シンポジウム2 建築の未来!「偉大な先輩建築家に学ぶ」IX 磯崎新とは

28 シンポタスク長 田中 康裕

シンポジウム2は、JIAとNPO建築文化継承機構との共催で、大分市内のアートプラザで行われた。アートプラザは、1966年に竣工した磯崎氏の作品であり、現在は、登録有形文化財に指定されている。

シンポジウムは、登壇者に菅原氏(前大分市美術館館長)、西岡弘氏(元磯崎新アトリエ所員)両氏を迎えて行われた。当初、メイン会場のビーコンプラザからも遠いため、来場者が心配されたが、会場の定員である70名が参加し、盛況であった。

最初に西岡氏が当時の事務所での磯崎氏の立ち振る舞いや、仕事に対しての向き合い方、現場での話を分かりやすく話をされたので、参加者の方々も興味深く聞かれていた。

菅氏は、磯崎新の背景（瓜生島、終戦時の廃墟など）、資質（アーティスト、エンジニア、思想家、批評家）時代（安保と前衛。高度成長と失速、バブルとポストモダン）成果（建築家の概念を変えた、文化としての建築、芸術と建築の関係性、世代間の交流）を我々建築家と違った視点で捉えられていて、新鮮であった。

磯崎氏について、彼は、建築家と同時に多様な顔を持った多面体の人であり、エニグマ（謎の人）であり、建築外的・思想を持っていて、文化表象の手法を用い、建築の解体

と再編を試みた建築家であるとも話された。

これらは、著書や作品でしか知らなかつた磯崎氏を再認識するとともに、現在の我々建築家に、あらためて偉大な先輩建築家であると考えさせられたシンポジウムであつた。

また会場には、パートナーであった辛さんも、沖縄から沖縄支部長と来場されたため、沖縄移住の話なども聞きることができ、意義な時間を共有できたと思う。

最後に、会場設営など準備を手伝ってくださった大分地域会の重田さん、小田さん、松田さん、ありがとうございました！



JIA 建築家大会 2024 別府（メインシンポの裏ばなし）

2023年6月26日17:00から第1回実行委員会がスタートしました、松山支部長の威勢のいい挨拶から始まりました、大会委員長（松山）、実行委員長（川津）、副委員長（佐々木寿久）（福田）及び担当チームの編成を決め役割分担を行い進めていきます、執行部があらかじめ大枠を検討し議案に挙げて実行委員会にて決定するという流れです、開催地は支部長と大分地域会が熱い議論を重ね（磯崎新の原点である）大分県は別府市での開催が決定、そして私がメインシンポ担当タスク長で三迫さんとともに検討していく事になったのは4回目くらいでした、三迫さんは2010年10月JIA全国大会2010九州での経験がある方なので頼もしい存在です、とりあえずは2名で進めて詳細を詰めていく事になります。そのころ企画チームから大会テーマが4案ほど議題にあがり過去の大会テーマなど参考し議論を重ね11月頃に「建築の未来」という大会テーマが決まりました、常滑大会の直前です、広報チームは常滑大会でのPR動画をバタバタと作成し常滑会場ではしっかりと実行委員全員で案内をすることが出来ました。

大会プログラムの方も少しずつ見えてきました、当初は大会規模を抑えるためシンプルにという方向性でしたが、会議を重ねるにつれ充実したプログラムとなっていきました。

さてメインシンポはまず登壇者を決めなければなりません記憶では1・2月頃に登壇者の候補とメインシンポジウムのプログラムが決定しました、基調講演とクロストークの2部構成で展開していく事が決まり、その決定を受け14:00～17:00間に分単位でのスケジュール、登壇者控室の確保、ステージ場のレイアウト、客席の区画割、講演に必要な音響照明備品の整理、当日スタッフの配置、等々不足や不備はないか確認しながらビーコン側と協議し詳細内容を企画長の佐々木信明さんに相談しながら議案にあげていきました、磯崎新設計のビーコンプラザにはカッシーナのコルビジエソファーがたくさん目につきます、これを使った方が良いと思いステージにはコルビジエのソファーそしてカッシーナ様から無償にてサイドテーブルをお借りし、さらにはソファーのメンテナンスも無償で行っていただきました、それらをレイアウトしクロストークを展開していく、今大会は赤を基調としたデザインで統一していたので客席区画用マスキングテープも同じくデザインしたものを使用、登壇者とは大会2か月ほど前から進行の協議を

メインシンポタスク長 田中 健一郎

行いました、その他のシンポ担当と連携し進めていかなければなりません。

11月28日に会場準備です、コンベンションホールは半分を使用するためステージや幕は可動式です、長年使用しているせいかステージの足元やいろんなところが破損しているため三迫さんとテープで仮補修、またPC確認にはいろいろな媒体に対応可にしておく必要があります、音響マイクテスト、照明テスト、登壇者と来場者の動線誘導設置など準備を整え明日の本番を迎えます。

基調講演の重松象平さまは、事前にメールにて羽田から大分に向かう情報を得ていただきました、大会式典30分前に到着予定でしたので急ぎPC確認を行う必要があります、時間的にはほぼ余裕がありません、また飛行機も発着が遅れると基調講演ができなくなります、その時は支部長に冗談交えながら代打講演をお願いしたいなど話しておりましたが、ホールでお待ちしていると予定より1時間ほど早く到着されました、私自身とても安心いたしました。そのあとは全て予定通りに、ステージ袖から司会と連携し進行していきます、会場の様子は約700名が来場されており、大盛況です、本当に良かったです。実行委員及び当日スタッフの皆様には大変感謝を申し上げます、ありがとうございました。



2024 別府大会で思ったこと

■ 協賛金のこと

3週間に1回開催した実行委員会ではWEB会議が多かったが、やはりリアルな会議がよかった。

協賛金の件では、いろんな考え方があったと思うが福岡の会議での意見交換でゼネコンへの依頼は取りやめることにして、協力会を含めたメーカーさんや会員事務所および、会員は沢山いるがほとんど活動していない組織事務所への協力依頼などが決まったことはよかったと思う。本当は地元ゼネコン・サブコンはいいのではないかと考えていたが、結局田島さんの一言（言い出しちゃは私でしたが）で一切依頼しないことになり、心配もしたが皆さんの頑張りで予想以上の協賛金が集まり、参加した方の経費や地域会からの借り入れも清算することができてよかった。ひとつ残念だったのは、組織事務所のコーナーをいい場所にセッティングしたにもかかわらず、協賛15社のうち1/3程度しか展示がなかったこと、JIAに対する関心がないことがうかがわれた。今後協賛金を毎回依頼するかどうかも含めて、組織事務所の活動参加について検証が必要であると思う。

■ 重松象平さんのこと

会えるのを楽しみにしていたが、当日の開催直前までハラハラしたが予定より早く会場入りしていただき、まずはほっとした。シンポジウムからクロストークまで、大面白く興味深い内容だった。末広さん、末光さん、石山さんの掛け合いもよかったが、叔父（元東畑）さんの話では事前の象平さんとのやり取りでは「磯崎さんのことはほとんど知らない、勉強しておきます」とのことだったので心配していたが、基調講演では磯崎さんの話はほとんど出でなかっただが、クロストークでは末廣さんがうまく振ってくれていた。ここ15年ほど全国大会は参加しているが、一番たのしい内容だった。

あとは2次会・3次会で一緒にお酒を飲んでいろんな面白い話（九大竹下研究室の裏話）が聞けてよかった。いい男です、象平ファンになりました。

■ 別府のこと

会場をどこにするかいろんな議論があったが、別府でやれて本当に良かったと思う。

全国からの参加者も満足してもらえたことだろう、毎晩いろんな人といろんな場所で飲んだがディープな別府を知ることができ、全国の会員の方と知り合いになれたことは有意義であった。

福島の辺見さんの話は刺激的でした、70歳になってトライアスロンを始めたそうです、私もまだまだ頑張ろうとその時だけ思いました。奥さんもとても素敵な方でした。中でも一番うれしかったのは、2010年に北九州でやった全国大会のレセプション後に案内した小倉のスナック巡りに参加した近畿支部のひとから、「あれはとてもよかった」と今でも覚えてくれていたこと。

今回も別府の夜を楽しんでくれたことでしょう。10数年後にまた九州の全国大会で飲んだ時に「あの時の別府の夜は最高だった」なんてことを聞けることでしょう。

結局飲んだことしか覚えていませんでした。以上

メインシンポタスク 三迫 靖史



JIA建築家大会 2024 別府ウラ話 シンポジム4

建築家大会に携わった九州支部のみなさま、大変お疲れ様でした。今回、29シンポジウムのタスク長として参加しました、北福岡地域会の永澤です。大会から半年が過ぎましたが、無事に大会を成し遂げられて本当に良かったとつくづく思います。

29シンポジウムのタスクは、シンポジム4「熊本から考える災害と未来」とシンポジム5「大分から考える木造と未来」を担当しました。ほぼ同じ時間に開催されるため、2チームに分かれて進めなればいけませんでした。そこで、シンポジム5については、実行委員の杉野さんにリーダーとして担当していただきました。開催前は、参加者がどちらかに偏らないか心配していたのですが、多くの方に参加いただき安心しました。大会に向けて十分に準備をしてきたものの、なぜか講演者が無事に会場に来られるかと心配しました。当日、講演者のみなさんとお会いした時は、ほっとしたことを覚えています。シンポジム4では、学生が取り組んでいる熊本地震復興支援について発表していただき

29シンポ・各種企画タスク長 永澤 正哉
ました。JIAの全国大会で学生に参加していただけることは、JIAの未来にとって非常に大切なことだと感じました。

最後に、14年前に開催された北九州での全国大会では何もできませんでした。

今回は、最後の機会だと思い、少しでも全国大会に貢献できればとの思い取り組み、自分自身に楽しい記憶として刻むことができました。ありがとうございました。



エクスカーションのウラ話

一番早くに準備に取り掛かり、一番遅くまで取り組んだもの、それがエクスカーション。
バスの段取りからルート企画、申込者の対応など日々の業務に追われながら、迎えた全国大会。シンポジウムや大会式典、レセプションパーティーが順調に終わる中、最終日まで全く気持ちが落ち着かない。そしていよいよエクスカーションの日。

最初に出発するグループの集合時間が8時前だったため、まだ早いかと思いつつ7時過ぎに到着。プラカードを持って大分駅に到着する参加者を誘導するか、と目をやると参加者らしき方々が向かってきている…。受付をしなければと慌てて名簿を取り出し、ネームプレートを渡す。誘導に行かねばならないのに、参加者がまた一人また一人…。全く動けず困っているところに、講師役の柴田さんが登場。無理を承知でプラカード誘導をお願いしたところ、任せておけと快諾。笑顔で誘導してもらい感謝しきりであった。(写真)

その後はいろいろとハプニングがありつつも大きなトラブルはなく、無事に最後のバスを迎え、バスの運転手に御

エクスカーションタスク長 竹宮 浩一郎
礼を伝えた。すると「車内にどなたかiPadをお忘れですか…」。大きな忘れ物だ。この後は打ち上げが待っていたため、スタッフに預けてとりあえずその場を離れた。

すると翌日、A氏から「バスの中にiPadを忘れてしまった。探しに大分市〇〇にあるようだ。」まさにスタッフの自宅である。数日後に海外に行くとのことで、急ぎパソコン宅急便にて着払い。無事に手元に届き安堵した。ようやくこれでエクスカーションが終了したのである。



シンポジウム 5 運営の裏話

私は今回の全国大会でシンポジウム「木造と未来」を担当しました。企画自体は大分地域会が担当でしたので、私自身は運営と準備について協力しました。準備に関しては半年前位から具体的に始め、全国大会全体運営の中での当企画の位置付けやスケール感を協議し、会場やスタッフ数等を決めていきました。また、当日会場も事前見学させて頂き、会場の担当スタッフとの具体的な打ち合わせや備品等の確認も行い、来場者や登壇者の動線も含め、ある程度詳細にシュミレーションする事が出来ていましたので、当日の運営に関しては安心していました。ところが、当初3名の講師と大分地域会三浦会員の登壇で、会場内でのディスカッションとしてシンポジウムを計画していましたが、前日に講師1名の来場が難しいとの連絡があり、急遽Zoom併用のプログラムに変更する事になりました。その時点では会場のネット環境も不明な上、その他登壇者も当日朝に来場しての機器調整となっていましたので、前日の夜にバタバタと可能な限り調整しましたが、会場のネット環境もかなり不安定である事が判明し、不安な気持ちで夜を過ごした事を覚えています。当日も会場の関係で事前準備の時間が30分程度しかなく、開始ギリギリまで登壇者のPC設定を行っていました。結果としては何のトラブルもなくスムーズに実施する事が出来ましたが、実状はかなりリスキーで綱渡り的な運営であった事を暴露（笑）さ

29 シンポ・各種企画タスク 杉野 友紀

せて頂きます。とは言え、大分地域会の重田会員をはじめ、会場スタッフの方もネットを利用した会議に関して経験も多く、事前に不安要素をある程度潰せた事も成功の一因であった事も併せて報告させて頂きます。最後にこのような貴重な経験をさせて頂きました事を感謝し、私の裏話を終わらせて頂きます。



ウェルカムパーティー、レセプションパーティーのハプニング

私と長崎地域会の松本さんが実行委員として担当させていただきましたウェルカムパーティーでは、皆様のご協力もあり参加者が337名と盛大な盛り上がりを見せておりました。

その中で、少しのハプニングがありましたので紹介いたします。

まず、開催時は遅れて参加される方が多くいらっしゃるとの予定でしたので、乾杯はしないで、いらっしゃった会員が自然と飲み始めて始まる形態で行こうという話で実行委員会の会議では決まっておりましたが、いざ本番になると開始の合図を皆が待っているという状況でした。戸惑っている私を見かねた松山大会委員長が「乾杯はどうなつると？」と声をかけて頂き、「松山さんお願いします」と

ウェルカム・レセプションタスク長 林田 直樹

咄嗟に無茶振りを大会委員長にしてしまいました。ところが、さすが松山さんで快く引き受けてください、何事もなかったように会場は乾杯とともに開催いたしました。「松山兄貴！！ありがとうございます」と思った瞬間でした。

レセプションパーティーも総勢431名の参加があり料理もおいしかったと盛大な盛り上がりを見せました。その際にもハプニングがありました。オープニング挨拶でアルカジア会長挨拶の際に、パワーポイントで和訳をプロジェクターに投影していたのですが、パワーポイントの設定が時間



設定のコマ送りとなっており、挨拶と和訳のズレが生じる状況となりました。慌てふためいておりましたが、国際委員会の水本さんが和訳担当の方と一緒に横で合図を出して頂き挨拶に合うように和訳のパワポを戻したりと微調整を行いながら多少のズレはありながらもなんとか対応できました。アルカジア会長に大変失礼だったかなと反省しておりましたが、水本さんが「大丈夫ですよ」と声をかけて頂き、少し気持ちが落ち着きました。この場をお借りしてアルカジア会長へのお詫びと水本さんへの感謝をお伝えいたします。アルカジア会長大変失礼しました！また、水本兄貴ありがとうございました。



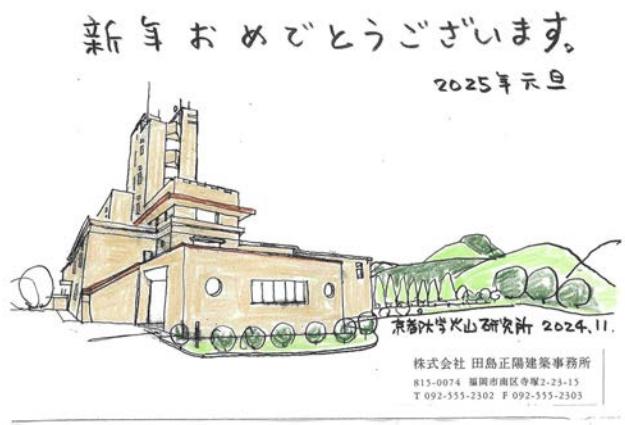
京大阿蘇火山研究所を修復塾ツアーで訪ねて

別府大会ではエクスカーションを担当し、熊本地震の復興の様子をご案内しました。その中で阿蘇の丘に建つ京都大学火山研究所についての思い出を話します。この建築は1928年竣工した京都大学技師永瀬氏の設計によるもので、DOCOMOMO JAPANに選定されています。阿蘇から熊本市内に伸びる大きな断層を見渡す丘に建ち、完成から8年間災害に合わなかつたそうですが、2016年熊本地震で壊滅的な被害を受け、復旧に5年を要しました。今

エクスカーションタスク 田島 正陽

年の年賀状にそのスケッチを載せましたので紹介します。ドイツ表現派に見られるような塔を持つ建築は威厳があり下界を見下ろしておりました。

研究所の教授から修復の様子の説明を受け、内部を案内されました。玄関回り、階段の手すり、木製ドアなどの凝ったデザインが目を引きましたが、各部屋にしつらえてあつたマントルピースに感銘を受け、当時の阿蘇の寒い冬で活躍したことが偲ばれました。その写真も添付します。



国際タスクのウラ話【国際委員予定者の備忘録】

国際タスク長 水本 浩二

JIA 全国大会の IPF (各国会長会議) は、主に本部国際委員会が企画・運営し、海外の提携団体への招待状を JIA 総会後に送ります。参加者数は 8 月頃に確定し、必要に応じて別の団体への招待も行います。航空券は各自手配し、宿泊は JIA が手配、特定のゲストのみ予算から支援します。JIA 会長や国際委員が参加する国外大会 (4 月のタイ ASA、6 月のアメリカ AIA、9 ~ 11 月の韓国 KIRA、KIA ほか) で話題になったテーマや参加メンバーの顔ぶれ、前回議題や現在の関心事を勘案し、全国大会での IPF テーマや会議形式(シンポジウム型、ラウンドテーブル型)を検討します。

国際委員会で設営チームと接遇チームが組織され、大会までの期間に WEB 会議で詳細を詰めていきます。

設営チームはレイアウト検討や必要機器類・備品・飲物等を手配、会議前後の会場設営・片付けを担当します。接遇チームは大会期間中の移動手段、食事場所の手配等を担当し、必要に応じて事前にロケハンを行います。また、海外ゲストは大会式典には参加しますが、その後のバイインガル対応でない基調講演関連からレセプションまでの時間帯にミニツアーを企画し、大会開催地の風土や建築景観の周遊をアテンドします。

ウェルカムパーティー後の二次会についても接遇チームが場所を探し、事前に予約を行い準備します。海外ゲストの食事については、信仰宗教上の食物禁忌にも配慮する必要があるため、食事提供時に特別メニューを準備することもあります。

別府大会では国際委員長と私が別府でロケハンを行い、ミニツアー候補の鉄輪温泉地獄めぐりや、ビーコンプラザと杉乃井ホテルの会場下見、別府ナイトの二次会店舗で実食し、大会期間の動きをシミュレートしました。

大会期間中は事前準備のおかげもあって大きなトラブルはありませんでしたが、

- (1) 1 団体の発表時間を 7 分でお約束のところ 20 分以上お話される方がいらっしゃった。
 - (2) 大会式典で予定にないけれどスピーチ披露をご所望される方がいらっしゃった。
 - (3) レセプション時の ARCASIA 会長スピーチに合わせた日本語字幕速度設定を誤った。
 - (4) IPF 時の各団体プレゼン資料一式を格納した PC の一時的な紛失 (会議後に発見)。
- といった軽微な想定外はありました。ちなみに (1)(2) の想定外は同じ団体であったため、「お国柄なのかなあ」と他のメンバーと頷きながら知見を深めることができました。



あかりコンペ

私は建築家大会 2024 別府においてあかりコンペを担当しました。

毎年 JIA と大光電機の共同主催で開催される「建築家のあかりコンペ」。建築家大会での展示・公開二次審査開催にあたり、支部ではよくわからないので本部あかりコンペ委員会と連携して準備を進めるのが通例になっているようです。今回、委員会側の窓口となってくれたのが近畿支部の井上さんでした。紹介され早速電話しみるとゴリゴリの関西弁で圧が強い(笑)。九州の田舎者は関西のお姉さまに圧倒されつつ協議を進めていくと、どうも毎回集客が良くなく今回の 15 回目を節目として次年度からは未定ということでした。「集客なんとか頑張って!」ということでは会場選定でもプレッシャーがかかる中、一度決まった会場が急遽変更、関西のお姉さまに怒られるのではないかとヒヤヒヤでした。当初より小さな会場になったのですが、これが逆に大当たり、立ち見の方もいて審査員の方々のユーモラスな雰囲気も相まって会場は盛り上りました。終わってみると審査員やスポンサーの大光電機さん、本部あかりコンペ委員会の皆さん「良かった~」と言ってくださいり、関西のお姉様・井上さんも大喜びでホッとした。そんな私はあかりコンペについて「あかり」=「照明」=「照

コンペ・あかりコンペタスク長 吉永 啓

らすもの」、そんな程度にしか考えていなかったのですが、応募作品を見るとあかり自体を見て楽しんだり、安らぎを与えるたり、何かに反応してみたり、照らすだけではない様々な提案があり、あかりコンペを通して「あかり」の概念が変わりました。そして、次の週末に行われた熊本地域会恒例のライティングパーティーで大光電機賞を頂きました。他にも色々言えないことあったけど、あかりコンペ担当して良かった~。終わり。



別府の夜と同級生

展示タスク長 池浦 順一郎

メインシンポジウムの基調講演の講演者の重松象平氏は大学の同級生なのですが、この大会の機会に便乗して、久しぶりにお酒を飲めました。レセプションパーティーに始まり、次は別府温泉ナイト、さらに、その後のうどん屋さん。よく飲むなあと思いつながらも、何を話したかも記憶がなく、建築の話もしないまま別府の夜を堪能していました。昼と夜ともに充実した大会期間となりました。皆様、ありがとうございました。展示タスクとは一切関係のない話でした…。



未来のドラム缶

一年半にも及ぶ準備期間を経て無事に本番も終わり、最近は大会ロス気味な鹿児島の宮崎です。

本業を犠牲にしてまで、なんでここまでやるの?と愚痴をこぼしつつも、実は楽しんでいた自分がいたことに、今さら気がつきました。

当初は張り切りすぎてCGを作ったりもしましたが、空回り感があり…。相変わらず空気を読めない性格は変わらず、めげずにまた何か爪痕を残そうと画策していました。

そこでひっそり、いや強引にメインホールに置かせてもらったのが、名付けて「未来のドラム缶」です。

事務所で丸一日かけて製作し、重量 40kg に腰を痛めつつ、自家用車で鹿児島から搬入。組み立ては鹿児島地域会メンバーと周辺の女性陣が参加してくれ、インパクトドリル片手に何とか完成、設置できました。

この深紅の「未来のドラム缶」は、来場者が最初に目に

協力会タスク長 宮崎 秀志

するオブジェとして、大会への期待と高揚感を与えられた…と勝手に自負しています。

抜群のチームワークを誇る九州支部メンバーとの協業は、思い出深いものとなり、大会スタッフとして充実した日々を過ごせたことは、代えがたい経験となりました。



大分大会の想い出

鹿児島地域会は協力会等のブースコーナーの設営を前代表の宮崎秀志の計画にもとづき行いました。多数のディスプレイを配置した展示は、CGまで制作して検討しただけあり、見応えある構成でした。最初はおびただしい数のディスプレイに圧倒されましたが、厨房内まで照明の展示が行なわれた宮崎前代表の展示計画に脱帽しました。会期中の28日には、アートプラザ（旧図書館）で開催された「偉大な先輩建築家に学ぶIX 磯崎新とは」の会場担当としてシンポジウムを拝聴できました。菅 章氏（前大分市美術館館長）、西岡 弘氏（元磯崎新アトリエ所員）、総括：仙田 満氏（NPO 建築文化継承機構理事）の3人が登壇され、なかでも菅 章氏の『言語から読み解くと 10 の思想の遍歴』等の話は、アートとの関係から磯崎新を解読され、建築界では聞くことのできない貴重な機会となりました。会場は満席で、立見が出るほどの盛況でした。

30日のエクスカーションは、熊本震災遺構巡り+文化財修復塾ツアーのバスに乗車し、途中、文化庁の「建築文化の振興」、DOCOMOMO Japan の解説を担当しました。再生した阿蘇の京都大学火山センターや熊本城の宇土櫓の修復現場は、一般では入れない建築で、これも貴重な経験

エクスカーションタスク 鯉坂 徹

となりました。

前日入りしエクスカーションまで参加したのですが、残念だったのは温泉にゆっくり入れなかつたことでしょうか。27日に鉄路で別府入りし、設営や会場担当、ガイド等をやりつつ、今回はなかなか得るもの多い4日間となりました。メインシンポジウムやレセプションパーティも聴き応え、食べのみ応えとも素晴らしい、担当メンバーの尽力に深謝致します。ありがとうございました。（鯉坂 徹）



DOCOMOMO Japan_217

（京都帝国大学阿蘇火山研究所 1928 設計：永瀬狂三）

ウラ話 エクスカーション1

磯崎新建築のいま 大分編を担当させていただきました。

無事に終えることができ皆様に感謝しています。ウラ話というほどのものはないですが、今回見学した大分県立図書館、芸術文化複合施設アートプラザ、学校法人岩田学園の3施設は、建築家の方々が見学に来られるという事で、意気込みと、建築に対する愛を感じられるものでした。普段見学できないものを見ていただきたいという思いから、案内経路を何時間もかけ検討や説明をしていただき、普段拝見することのできない建築当初の図面など、準備や打合せに時間を費やしていただいた事に感謝しきれません。岩田学園ではエクスカーション当日は試験期間中で午後から生徒が居ない状況という事から、教室内部など細部まで見学することができました。

また昼食を準備するにあたっても、大分の郷土料理を少しでも多く堪能していただこうという思いから、予算内で通常メニューには無い組み合わせを快く協力していただき提供することができました。個人的には今回のイベントを通じ、各施設利用者が、施設を愛し、引き継いでいこうという思いと、おもてなしの心を改めて感じたイベントでした。

エクスカーション1 担当 一宮 嘉宏

ここからは個人的なハプニング?ですが、エクスカーション当日は参加者を乗せたバスと別行動し、バス到着前に施設挨拶とバス誘導を行うはずでしたが、朝参加者をお迎えし自分の車で出発しようと駐車場へ向かうと、何故か駐車場に停めた自分の車が歩道に???そのハプニングの対応に追われ途中で合流した事でしょうか。慌てふためく場面でも、大分地域会メンバーの協力で、滞りなく無事に終える事ができ安堵しました。メンバーにも感謝しきれません。

あれから約5か月未だ代車生活。ちなみにここ5年間、約2年代車生活しているのはどうしたものかと思います



ウェブでつなぐ建築家大会

こんにちは。アトリエサンカクスケールに在籍しております、上栗望と申します。

私は令和2年の九州支部ホームページのリニューアル以降、支部ホームページの制作・管理を担当させていただいております。皆様と直接お会いする機会は少ないですが、事務局様を通じて会員の皆様の登録プロフィールを拝見しておりますので、吉瀬さんほどではございませんが、皆様のお名前とお顔を存じ上げております。

このたびの別府大会では、有吉広報タスク長のもと、ホームページ制作を担当させていただきました。紙媒体の使用を極力控え、Webサイトを活用して大会を構築していくという委員の皆様の熱意は素晴らしい、プログラムが

広報 HP 担当 アトリエサンカクスケール 上栗 望

次々と決定し、随時情報を更新いたしました。有吉さんの卓越した文章力と、野口さんが手がけられたロゴマークの力を借りながら展開を進め、さらにInstagramやFacebookの広告運用を通じて若い世代のフォロワーを獲得することができ、11月度のSNS閲覧数は10.5万回を超えるという大変ありがたい成果を得ることができました。

また、展示タスクの皆様とも協力しながら各ブースを設え、多彩なアイデアが形になっていく様子に大いに感銘を受けました。改めまして、有吉さん、吉瀬さん、岩本さんをはじめ、多くの皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

スマホ越しに見た建築家たちの未来

私は建築家ではありませんが、JIA に関わらせていただいて 20 年以上、昨年からは本部の建築家 PR 動画 WG のメンバーになりました。そして別府大会では、Instagram や YouTube での動画発信を行うため、大会参加者としての視点で自分のスマホで大会の様子を撮影していました。その中で見た世界は、建築家や九州支部のみなさんの魅力を痛烈に感じるものでした。

広報 SNS 担当 スタジオネオ 伊波サチヨ
(JIA 関東甲信越支部 個人協力会員)

建築家って地域のこと、未来のこと、どうすればよりよくなるかを真剣に考えて、その能力を使って本気で実現していくこうとしている。デザインにおいても、最高に魅力的にアプローチしてくれる。そしてこの大会で感じたのは建築家って、楽しくて多才！未来における建築家の存在の意義を確信しました。

九州支部の方々の熱い思いに触れ、温かいものを胸に東京に帰りました。

磯崎新の“謎”を撮る

別府大会の予告映像制作の藤原次郎（映像作家・写真家）です。再婚を機に関西から大分に移住して 3 年。関西では主に建築系の映像を制作。JIA 近畿支部の方々とも交流、九州支部に紹介されこの映像を請ける。僕の制作手法ノーナレで情景を重ねていくもの。今回は大分県の自然、別府の情緒、そして磯崎新氏の作品を交えること。磯崎氏の作品

広報 映像担当 藤原 次郎

を目前にして、その撮影の難しさに直面。それは建築に正面が無い。暗示がある。これを読み解かないと撮れないと。そのため磯崎氏の本を必死で読み写真を観た。正解ではないにしろ何か捉えられたと。また機会があればその「磯崎新の謎」のことはじっくり。今回ありがとうございました。

誌面で伝える九州の熱

2011 年 9 月から『JIA MAGAZINE』の編集・制作を担当しています。昨年九州支部の有吉さんと 6 号にわたって別府大会の information 記事（25 頁）、今年の 432 号では報告記事（9 頁）を作成しました。赤を基調にした素敵な大会オフィシャルイメージに倣って、読者の皆さんに「ぜひ参加したい！」と思っていただけるような誌面にすることを考えながら作成しました。中学 3 年から高校 3

広報 JIA MAGAZINE 編集者 南風舎 南口千穂

年まで熊本市内で過ごしたため、九州には特別な思い入れがあります。ですから、九州支部のお仕事ができて嬉しいです。別府大会の少し前、九州出張の際に支部にお邪魔しました。突然の訪問にもかかわらず、事務局の吉瀬さんにとっても温かく迎えてくださり感激しました。ありがとうございます。

“未来”をデザインする

「JIA 建築家大会 2024 別府」という日本内外から多くの建築家のみなさまが集う大切なイベントにグラフィック DESIGN で参加させていただきまして、誠にありがとうございました。「建築の未来」というテーマを表現するにあたり、「建築の向かう未来」「建築家の巡る思考」「別府に集う」などから方向を示す矢印を用いて“未来”的文字をロゴ化しました。ロゴと色を決める際、様々なツールへ

広報 グラフィック 野口 剣太郎

展開すること、会場装飾イメージなども先に想定して提案し、運営メンバーのみなさまと膨らませて決定しました。多くの方が関わるイベントですが、最終イメージを共有することで、一貫性のある表現が完成しました。建築とグラフィック DESIGN の未来を感じていただければと思います。

参加者の皆様、スタッフの皆様、お疲れ様でした！



2025/05/24 第1回役員会 本部・支部事業委員会報告_01

報告事項

(3) <常設委員会> 活動報告

1	総務委員会	福田哲也 知財WG:田中健一郎
	4月10日第9回総務委員会 (ZOOM)	5月13日第10回総務委員会 (ZOOM)
知財WG : 報告事項無し		
2	財務委員会	下山道男
	4/8 第5回委員会 ・事業活動助成報告 ・事業活動助成報告の未提出確認 ・2025年度財務委員会構成(案)について:九州支部は重田理事が次期委員となる	
3	職能・資格制度委員会	田中健一郎
	報告事項無し	
4	業務委員会	前田哲 建賠WG:田中康裕
	報告事項無し	
5	広報委員会	本部:佐々木 信明 支部:一丸 康貴、吉永 啓、小嶋啓美
	・4月3日第10回委員会開催:HP保守WGの活動について報告、建築家PR動画推進WGの活動について報告、2025年度委員会構成について、JIA公式インスタご案内2025年度委員会構成について、その他 ・5月9日第11回委員会開催:IA広報委員会HP調査・検討ミーティング、HP保守WGの活動について報告、建築家PR動画推進WGの活動について報告、2025年度委員会構成について、その他 →広報委員会の重要な内容については、理事会報告(総務委員会、財務委員会など)に掲載されていますのでご覧ください	
	支部広報委員会報告 ・ブルテン発刊に向けての原稿提出状況20%程度 ・5/19日に執筆依頼の未提出の方に対してメール	
6	教育委員会	田中康裕
	4月17日委員会開催 九州で行うフィールドトリップについて協議 5月1日フィールドトリップTF開催	
7	国際委員会	水本浩二
	・4/18 第1回国際委員会(出席16名) (ACA21、委員会構成、JIA千葉大会、万博チェコ館イベント、国際交流活動支部事業助成ほか全9議題)	
8	CPD評議会	田中康裕
	4月24日評議会開催 QRコードによる認定、細則改定などについて協議	
9	建築家資格制度実務委員会	宮崎秀志・佐々木寿久
	報告事項無し	
10	新資格制度を推進する特別委員会	佐々木寿久
	報告事項で報告します	

2025/05/24 第1回役員会 本部・支部事業委員会報告_02

報告事項

④ <全国会議> 活動報告

1 JIA環境会議 古森弘一 伝統的工法のすまいWG:古川保

5月13日（火）環境会議がzoomにて開催されました。

2 JIA保存再生会議 柴田真秀・田島正陽

報告事項無し

2-2 JIA保存再生会議 文化財修復塾 岩田幸千

2025年5月7日（水）第11回JIA文化財修復塾WGのWEB会議が行われた。本部理事会報告のあと今後の養成塾の予定、2年間を振り返っての総括があった。更に新担当者の分担、11月に行われる全国大会で修復塾が行うエクスカーションについての協議を行った。その他各支部から報告が行われた。

2-3 JIA保存再生会議 近現代建築物緊急調査ユニットWG 鶴坂徹

報告事項無し

3 JIAまちづくり会議 松島逸人

報告事項無し

4 JIA災害対策会議 林田直樹

4/12 第二回のとボイス

5 JIA建築相談連携会議 豊田宏二

報告事項無し

5-2 JIA九州支部建築相談委員会： 豊田宏二

報告事項無し

6 住宅等連携会議 智原聖治・佐々木寿久

報告事項無し

6-2 住宅連携会議（小規模事務所のBIM推進） 佐々木寿久

- 4/16 次期委員について
- 5/14 建築家大会マネスの件

報告事項

⑤ <その他>

1 全国学生設計コンクール実行委員会 池浦順一郎

4月15日実行委員会会議・5月14日実行委員会会議

2 職責委員会 松山将勝

報告事項無し

3 懲戒審査委員会 佐々木 信明

報告事項無し

2025/05/24 第1回役員会 本部・支部事業委員会報告_03

⑥ <特別委員会> 活動報告

1	オンライン_リモート対応や環境 整備に特化した特別委員会	村上明生
25年期も体制は変わらず定期的に行う予定。 MNSの運用について、2月の理事会で承認されました。 5月から会員運用を開始し、8月に一般公開を目指す予定で動いています。 MNSは、建築家のデータベースであり、会員の積極的な入力をまずはお願いしたい。 能力、技術、実績、経験、受賞、著作物、イメージなど、様々なデータがアーカイブされることで、建築家の姿を浮き彫りにし、魅力を最大限に引き出す。利用する側は、建築家を客観視でき、辞書的な使用も可能となる。		
2	カーボンニュートラルの樹	古川保
報告事項無し		

支部事業委員会報告

教育支援委員会

1	建築塾WG	佐々木寿久
2025年10月24～26日 北福岡で開催		
2	デザインレビューWG	池浦順一郎
報告事項無し		
3	DR高校生レポーターWG	重田 信爾
報告事項無し		
4	建築家派遣（エコルサポート）	福田 哲也
今年度も東住吉小学校から依頼あり		

活動支援委員会

1	収益事業WG	川津 悠嗣
報告事項無し		
2	JIAサポートWG	川津 悠嗣
報告事項無し		
3	木活（モクカツ）WG	松島 逸人
報告事項無し		
4	25年賞WG	下山 道男
報告事項無し		
5	九州建築新人賞WG	松山 将勝
4月26日（土）に審査員の3名をお呼びし九州建築新人賞のシンポジウムを開催		
6	ケンハイWG	田中康裕
4月17日 WG開催		

2025/07/04 第2回役員会 本部・支部事業委員会報告_01

報告事項

③ <常設委員会> 活動報告

1	総務委員会	福田哲也 知財WG:田中健一郎
6月16日第11回総務委員会 ハラスマント防止措置WG発足、名誉会員選考手順等について話し合われた。		
知財WG : 報告事項無し		
2	財務委員会	重田 信爾
報告事項無し		
3	職能・資格制度委員会	田中健一郎
6月2日:職能・資格制度／本部建築家資格制度実務 合同開催委員会		
4	業務委員会	前田哲 建賠WG:田中康裕
<p>1. 国交省の社整審建築分科会（建築基準制度と省エネに関する会議）について 3つの検討会：①建築分野の中長期的な方に関する懇談会、②集団規定に係る基準検討委員会、③LCA検討会は各々9月にとりまとめがあり、10/16に合同会議が開催される。</p> <p>2. 業務報酬基準のフォローアップ会議について 令和6年1月に改訂された業務報酬基準のフォローアップ会議（事務局：国交省+有識者+実務者による委員構成）を6月・7月・8月に開催したのち、中央建築審査会に8/27に報告する。 JIA業務委員会として以下8項目の必要性を意見書として6/16フォローアップ会議に提出した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「告示」+「業務報酬基準ガイドライン」で導く適正な業務量 「標準業務」+「追加的な業務」の原則の理解と周知 安定した信頼性の高い標準業務量を定めるための考え方 経費を正しく理解し、適正な係数を導き出す 信頼を得る工事監理等業務に向け定義を詳細に確認する 「告示第8号標準業務に対応したBIMデータ入力の目安」をつくる 「改修業務フロー」を描くことから始める 「あるべき」業務量に導く「適正な業務サンプル」の提出 <p>以上</p>		
建賠WG : 5月26日WG開催、6月25日WG開催		
5	広報委員会	本部：佐々木 信明 支部：一丸 康貴、吉永 啓、小嶋啓美
<p>・6月6日第12回委員会開催：1. HP保守WGの活動について報告 2. 建築家PR動画推進WGの活動について報告 3. 理事会報告 4. JIA名誉会員リスト 5. 各支部報告</p> <p>支部： 6月26日にブルテン執筆未提出の方に提出期限7月9日とメール等で再度依頼済み。ご協力の程よろしくお願い致します。</p>		
6	教育委員会	田中康裕
6月17日 フィールドトリップについて協議		
7	国際委員会	水本浩二
<p>・5/23 第2回国際委員会（WEB出席23名） （スウェーデン木材イント、GC賞、UIA関連、国際交流活動支部事業助成ほか全7議題） ・6/27 第3回国際委員会（対面+WEB出席16名） （UIAコールドメタル推薦、UIA関連、ARCASIA関連、JIA千葉大会、AIA大会報告ほか全8議題）</p>		
8	CPD評議会	田中康裕
5月30日評議会開催、6月27日評議会開催		

2025/07/04 第2回役員会 本部・支部事業委員会報告_02

9	建築家資格制度実務委員会	宮崎秀志・佐々木寿久
	・6/2 資格制度実務委員会	

報告事項

④ <全国会議> 活動報告

1	JIA環境会議	古森弘一
	報告事項無し	
1-2	伝統的工法のすまいWG:	古川保
	報告事項無し	
2	JIA保存再生会議	柴田真秀・田島正陽
	保存再生会議はありませんでした。が、6月30日7月1日に文化財防災センター主催の令和6年能登半島地震被災建造物復旧支援事業・被災文化財等救援事業活動報告会がありました。（オンライン参加可能）	
2-2	JIA文化財修復塾WG	岩田幸千
	2025年6月4日(水)第1回JIA文化財修復塾WGのWEB会議が行われた。 ・2025年度から3年間をワンクールとした試行期間とする ・修復塾の名称変更について5月度の理事会で審議されたが却下された ・2025年度から新委員会の役割分担について協議した ・奈良現地見学会について協議した ・全国大会エクスカーション企画・スケジュールについて協議した	
2-3	近現代建築物緊急調査ユニットWG	鰐坂徹
	報告事項無し	
3	JIAまちづくり会議	松島逸人
	報告事項無し	
4	JIA災害対策会議	林田直樹
	5/16 第8回災害対策会議	
5	JIA建築相談連携会議	豊田宏二
	報告事項無し	
5-2	JIA九州支部建築相談委員会:	豊田宏二
	報告事項無し	
6	JIA住宅等連携会議	智原聖治・佐々木寿久
	・6/11 住宅連携会議 ・6/25 住宅連携会議 千葉大会 大会マанс(WEBSシンポジウム)の開催決定	
6-2	住宅連携会議 (小規模事務所のBIM推進)	佐々木寿久
	BIMセミナー開催の方向で調整中(株式会社フローワークスと協議中)	

2025/07/04 第2回役員会 本部・支部事業委員会報告_03

報告事項**⑤ <その他>**

1 全国学生設計コンクール実行委員会 池浦順一郎

6月17日 実行委員会会議・6月28日 コンクール準備・6月29日 コンクール本番

2 建築家PR動画推進WG 松山将勝

報告事項無し

3 職責委員会 松山将勝

報告事項無し

4 懲戒審査委員会 佐々木 信明

報告事項無し

⑥ <特別委員会> 活動報告

1 オンライン_リモート対応や環境整備に特化した特別委員会 村上明生

報告事項無し

2 カーボンニュートラルの樹 古川保

報告事項無し

3 新資格制度を推進する特別委員会 佐々木寿久

・5/20 新資格制度を推進する特別委員会(Zoom)
今回、役員会での協議事項

2025/07/04 第2回役員会 本部・支部事業委員会報告_04

支部事業委員會報告

教育支援委員会

1	建築塾WG	佐々木寿久	
	今回、役員会での協議事項		
2	デザインレビューWG	池浦順一郎	
	報告事項無し		
3	DR高校生レポーターWG	重田 信爾	
	報告事項無し		
4	建築家派遣（エコルサポート）	福田 哲也	
	6月9日 東住吉小にて第一回授業、今井会員による「自分たちの街づくりを考える」レクチャーが行われた。7月2日 第二回授業、生徒による中間発表とその講評を行った。		

活動支援委員會

2025/08/02 第3回役員会 本部・支部事業委員会報告_01

報告事項

(3) <常設委員会> 活動報告

1	総務委員会	福田哲也 知財WG:田中健一郎
7月22日 第一回会議開催。選挙規定の改定、名誉会員選考基準について協議が行われた。		
知財WG : 報告事項無し		
2	財務委員会	重田 信爾
報告事項無し		
3	職能・資格制度委員会	田中健一郎
7/25 職能・資格制度-本部建築家資格制度実務合同開催委員会		
4	業務委員会	前田哲 建賠WG:田中康裕
報告事項無し		
建賠WG : 報告事項無し		
5	広報委員会	本部:佐々木 信明 支部:一丸 康貴、吉永 啓、小嶋啓美
<ul style="list-style-type: none"> 7月4日第1回広報委員会開催: 1. 対面委員会の開催月について 2. HP保守WGの活動について報告 3. 建築家PR動画推進WGの活動について報告 会田氏 (全国大会関係ご報告) 4. 理事会報告 5. 各支部報告 6. その他: JIAマガジンの封筒に全国第会案内を印刷する件 		
支部: ブルテン発刊に向け作業中		
6	教育委員会	田中康裕
7月25日フィールドトリップ会議あり、熊本地域会への協力依頼 (田中欠席) スケジュール等別紙参照		
7	国際委員会	水本浩二
<ul style="list-style-type: none"> 7/25 第4回国際委員会 (WEB出席14名) (AIA-JIA協定WG、JIA千葉大会、ゴールデンキューブ賞、海外からの問合せほか全5議題) 7/2・17・25 JIA千葉IPF準備会議 		
8	CPD評議会	田中康裕
7月25日評議会開催		
9	建築家資格制度実務委員会	宮崎秀志
7月4日Web会議 7月25日Web会議 士会会長との意見交換報告、リーフレット配布説明、千葉大会概要等		

2025/08/02 第3回役員会 本部・支部事業委員会報告_02

報告事項

④ <全国会議> 活動報告

1	JIA環境会議	古森弘一
報告事項無し		
1-2	伝統的工法のすまいWG:	古川保
報告事項無し		
2	JIA保存再生会議	柴田真秀・田島正陽
7月23日リモート会議が開かれました。議長が今年度から金山氏から鹿児島地域会の鰐坂氏に交代されました。また、各地域会からの保存再生活動を教えてください。		
2-2	JIA文化財修復塾WG	岩田幸千
<p>2025年7月2日(水) JIA文化財修復塾WG会議をWEBにて行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025年度JIAヘリテージマネージャー養成講座の募集時期、料金などの確認【JIAマガジンに記載】 ・9月13日 奈良現地講習について協議、及び参加者確認 ・11月6日 千葉全国大会時エクスカーション野田市開催について協議、及び参加者確認 ・Eラーニングの今後の使用方法について協議 		
2-3	近現代建築物緊急調査ユニットWG	鰐坂徹
報告事項無し		
3	JIAまちづくり会議	松島逸人
<ul style="list-style-type: none"> ■7/25 第1回まちづくり会議 ・顔合わせ ・建築家大会in千葉での事業について 		
4	JIA災害対策会議	林田直樹
6/10 第8回災害対策会議 7/2 第1回災害対策会議		
5	JIA建築相談連携会議	豊田宏二
報告事項無し		
5-2	JIA九州支部建築相談委員会 :	豊田宏二
7月1日から7月28日は下記の相談対応を行いました。 ○7月2日熊本 戸建住宅の地盤沈下についての相談		
6	JIA住宅等連携会議	智原聖治
報告事項無し		
6-2	住宅連携会議 (小規模事務所のBIM推進)	佐々木寿久
報告事項無し		

2025/08/02 第3回役員会 本部・支部事業委員会報告_03

報告事項**⑤ <その他>**

1 全国学生設計コンクール実行委員会 池浦順一郎

7月16日 実行委員会会議

2 建築家PR動画推進WG 松山将勝

報告事項無し

3 職責委員会 松山将勝

報告事項無し

4 懲戒審査委員会 佐々木 信明

報告事項無し

⑥ <特別委員会> 活動報告

1 オンライン_リモート対応や環境整備に特化した特別委員会 村上明生

報告事項無し

2 カーボンニュートラルの樹 古川保

報告事項無し

3 新資格制度を推進する特別委員会 佐々木寿久

8月8日に開催予定

2025/08/02 第3回役員会 本部・支部事業委員会報告_04

支部事業委員會報告

教育支援委員会

1	建築塾WG	佐々木寿久	
	北福岡地域会より報告あり		
2	デザインレビューWG	池浦順一郎	
	報告事項無し		
3	DR高校生レポーターWG	重田 信爾	
	報告事項無し		
4	建築家派遣（エコルサポート）	福田 哲也	
	7月2日 東住吉小学校6年生の中間発表会開催。九州支部から3名の会員が参加して各提案に講評と今後のアドバイスを行った。		

活動支援委員會

2025/09/20 第4回役員会 本部・支部事業委員会報告_01

報告事項

③ <常設委員会> 活動報告

1	総務委員会	福田哲也 知財WG:田中健一郎
8月19日 第二回総務委員会開催。入退会審議、登録建築家制度、ハラスメントWG等について協議。		
知財WG : 報告事項無し		
2	財務委員会	重田 信爾
報告事項無し		
3	職能・資格制度委員会	田中健一郎
報告事項無し		
4	業務委員会	前田哲 建賠WG:田中康裕
• 8月19日（火）業務委員会開催 内容：建築3会による建築士事務所法制等の改善に関する提案（国土交通省宛意見）について • 8月27日（月）業務委員による上記意見のとりまとめを行い3会検討会へ提出		
建賠WG : 報告事項無し		
5	広報委員会	本部：佐々木 信明 支部：一丸 康貴、吉永 啓、小嶋啓美
• 8月19日第二回広報委員会開催（オンライン方式）：1. 対面委員会の開催日について 2. HP 保守WGの活動について 3. 建築家 PR 動画推進 WG の活動について報告 会田氏（全国大会関係ご報告） 4. JIA-net 5. 各支部報告について報告（詳細は理事会報告、総務委員会報告にて） 次回は10月2日に集合形式で本部建築家会館にて開催予定		
支部： ブルテン発刊に向け最終校正中		
6	教育委員会	田中康裕
8月6日委員会開催 9月12日委員会開催		
7	国際委員会	水本浩二
• 8/22 第4回国際委員会（WEB出席19名） (国際委員会HP、JIA千葉大会、JIA-AIA協定書、ARCASIA大会ほか全7議題)		
8	CPD評議会	田中康裕
8月29日 評議会開催		
9	建築家資格制度実務委員会	宮崎秀志
登録建築家更新者、再登録者への声掛け・9/2支部より対象者に個別メール配信済み。		

2025/09/20 第4回役員会 本部・支部事業委員会報告_02

報告事項

④ <全国会議> 活動報告

1 JIA環境会議 古森弘一

7月8日環境会議開催されました。次回は9月9日開催予定です。

1-2 伝統的工法のすまいWG: 古川保

報告事項無し

2 JIA保存再生会議 柴田真秀・田島正陽

報告事項無し

2-2 JIA文化財修復塾WG 岩田幸千

2025年9月3日(水) JIA文化財修復塾WG会議をWEBにて行った。

- ・2025年度JIAヘリテージマネージャー養成講座の申し込み状況、入金状況の確認
- ・9月13日 奈良現地講習について詳細を協議
- ・11月6日 千葉全国大会時 修復塾現地講習会について詳細を協議

2-3 近現代建築物緊急調査ユニットWG 鎌坂徹

報告事項無し

3 JIAまちづくり会議 松島逸人

- ・9/2(火) 第2回まちづくり会議 (ZOOM開催)
- 近秋の建築家大会での事業について
- マанс企画でのシンポジウム
- 千葉市内でのまち歩きWS

4 JIA災害対策会議 林田直樹

9/4 第3回災害対策会議

5 JIA建築相談連携会議 豊田宏二

7月29日から9月15日は下記の相談対応を行いました。
○8月21日福岡 老朽化したビルの活用についての相談

5-2 JIA九州支部建築相談委員会: 豊田宏二

報告事項無し

6 JIA住宅等連携会議 智原聖治

報告事項無し

6-2 住宅連携会議 (小規模事務所のBIM推進) 佐々木寿久

報告事項無し

2025/09/20 第4回役員会 本部・支部事業委員会報告_03

報告事項**⑤ <その他>**

1 全国学生設計コンクール実行委員会 池浦順一郎

報告事項無し

2 建築家PR動画推進WG 松山将勝

報告事項無し

3 職責委員会 松山将勝

報告事項無し

4 懲戒審査委員会 佐々木 信明

報告事項無し

⑥ <特別委員会> 活動報告

1 オンライン_リモート対応や環境 整備に特化した特別委員会 村上明生

JIAポータルの運用が始まっておりますので、皆様の登録をお願いいたします。

2 カーボンニュートラルの樹 古川保

報告事項無し

3 新資格制度を推進する特別委員会 佐々木寿久

8/8 第1回新資格制度を推進する特別委員会

2025/09/20 第4回役員会 本部・支部事業委員会報告_04

支部事業委員会報告

教育支援委員會

1	建築塾WG	佐々木寿久	
	・8/16 建築塾 課題発表会+ショートレクチャー(ZOOM)		
2	デザインレビューWG	池浦順一郎	
	7月30日実行委員会会議・9月10日レム・コールハース講演会共催		
3	DR高校生レポーターWG	重田 信爾	
	9/8 各地域会担当者へメール連絡		
4	建築家派遣 (エコルサポート)	福田 哲也	
	9月3日：東住吉小学校総合学習エコルサポートの模型作成前半。会員と会員事務所スタッフ計10名で参加。 9月17日：模型製作後半+各班の発表と講評。同じく10名で参加。		

活動支援委員會

JIA九州支部北福岡地域会 2025年度 活動報告(4月～5月)その1



北福岡	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島
-----	----	----	----	----	----	----	-----

活動スケジュール

○4月

- 5日:九州支部第8回役員会
 - 11日:日韓学生WS実行委員会
 - 14日:北福岡地域会役員会・監査
 - 15日:日韓学生WS会場打ち合わせ
 - 17日:建築土事務所協会北九州支部総会来賓出席
 - 18日:北九州市建築6団体引き継ぎ会議
 - 24日:北福岡地域会第38回通常総会
- 5月
- 14日:日韓学生WS実行委員会
 - 21日:日韓学生WS実行委員会 玉田氏出席
 - 21日:すこやか住宅推進協議会理事会
 - 24日:九州支部第1回役員会・九州支部第38回通常総会
 - 27日:すこやか住宅推進協議会総会懇親会

北福岡地域会第38回通常総会

- 日時:令和7年4月24日木曜日16:00-16:45
- 場所:ホテルクラウンパレス小倉
- 参加:18名
- 報告事項
 - ・当会員数41名中、出席者18名、委任状15名の計33名にて総会成立
 - ・2024年度事業報告、収支決算、監査報告、に関する件、審議し満場一致で承認を得た



北福岡地域会第38回会員集会

- 日時:令和7年4月24日木曜日17:00-17:45
- 場所:ホテルクラウンパレス小倉
- 参加:20名
- 報告事項
 - 福田会員による講話「アーム型ロボットによる新たな建設工法の開発」ロボットによる近未来の建築施工の可能性や、設計手法への提案、また設計作品を披露いただいた

北福岡地域会第38回通常総会懇親会

- 日時:令和7年4月24日木曜日18:00～19:45
- 場所:ホテルクラウンパレス小倉
- 参加:29名
- 主な報告事項
 - ・対面開催
 - ・北九州市都市戦略局指導部長他1名、建築6団体代表、建賛会代表他5名出席

日韓学生WS第1回実行委員会

- 日時:令和7年5月14日水曜日18:00～19:20
- 場所:ZOOM
- 参加:8名
- 主な報告事項
 - 建築塾同時開催の確認
 - 講師とのキックオフMTGについて
 - 建築塾課題を日韓学生WSと差別化を図るか？



JIA九州支部各地域会 2025年度 4月～5月 活動報告

北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島



■第38回長崎地域会通常総会

- 日時：2025年4月8日（金）
- 場所：グローバルビュー長崎
- 出席者数 正会員14名（委任状5）協力会員5名で総会成立
懇親会 来賓8名 正会員11名 協力会員12名
- 議長選出：正会員の有馬一郎氏を議長に選出



- ・現体制1年目の活動について事業報告が行われ承認された
- ・現体制2年目の活動について事業計画上程され承認された
- 総会・懇親会には佐々木寿久支部長にご出席頂きました



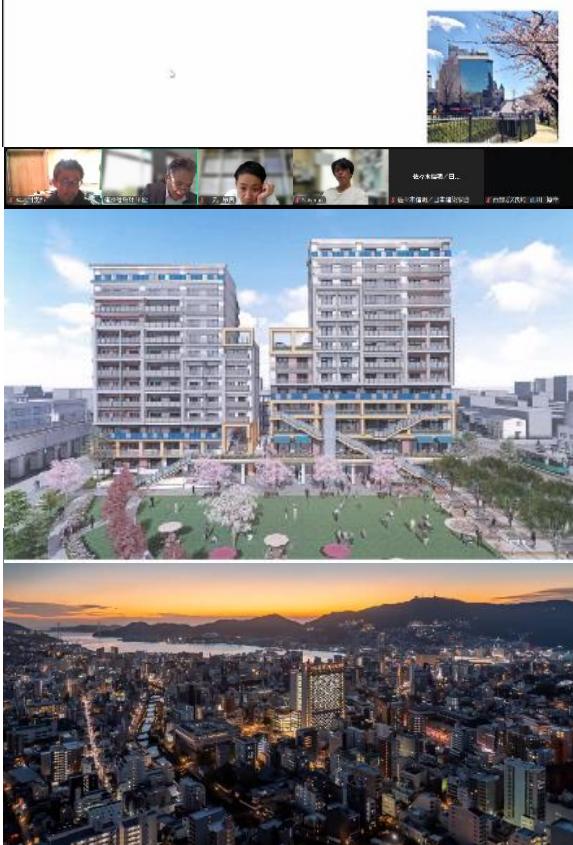
■長崎地域会第1回例会・技術セミナー(1)

日時：2025年5月12日（月）17:00～19:00

場所：リモート開催

- 第1回 会員による技術セミナー 平松晃一氏
- ・長崎県内の完成作品や進行プロジェクトを紹介
- ・参加者による質疑応答と意見交換

株式会社 建友社設計



●第1回例会

- ・地域会活動計画の詳細について協議
- ・長崎の子供たち向け建築をアピールする新事業を協議



JIA九州支部各地域会 2025年 4月 活動報告

北福岡	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島
-----	----	----	----	----	----	----	-----

熊本地域会月例会（第1回）

■日時 2025年4月24日（木）18:30～

■場所 熊本市国際交流会館 3F 研修室1

■参加人数：10名

1.審議事項、協議事項

1-1. 住宅賞

- 委員長：田中氏、委員：井出氏、佐藤氏、PS社長
(全員候補) 熊日委員？
- 賞金が妥当か？→保留
(同時に実施する事業と合算した予算内に納まればよい)

- 過去の落選応募作品を認めるか？→認める

- 協賛金も検討

1-2. 建築家作品展

- PSで開催 9/15～9/21
- 建築士会全国大会と日程が被る→検討（支部役員会で確認）
- 金曜日住宅賞審査 土曜役員会 日曜日地域交流会PS周辺
街歩き トークイベント（あくまで案）

1-3. 地域交流会

- 支部持ち出し役員会：9/20(土)13:30～16:30 に決定

1-4.25年賞

- 隔年とする。今年度後半より候補検討。
- 前審査の整理をするか？推薦者が事前チェックを行う？
- 予算を立てる→決定
- 熊本縛りはなしだが、応援はする

1-5.CPD 今年度の予定

- 矢橋、トラスト竹田氏、瑞鷹社長、
南部氏（熊本県立大学）、唐木氏（熊本大学）

2.報告事項

2-1.支部役員会・各委員会より

- 支部総会 5/24(土) 第2回地域会自慢は吉永にて発表予定
(ライバの紹介・次回の案内)

2-2.熊本地震記録誌

- 地域会で5部受取 熊本県、熊本市へ配布要請あり。
嘉島町、御船町、大津町は支部より直接配布。
- 熊本市は森下会員より、熊本県は吉永会員にて配布

3.その他

- 4/14 鹿児島地域会オープンレクチャー、意見交換会に参加
(林田、吉永)
- 熊本地域会の会則にシニア会員の規定がないので追記する。
会費は保留（次回総会で決定する）
- ライティングパーティ 担当上野 12/5金曜日
- 建築相談（梅田会員対応）
温泉タンクの水漏れ、透湿シートの音

4.閉会 21:00 次回：5/22(木)18:30～ 支部総会5/24

JIA九州支部各地域会 2025年5月 活動報告



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

鹿児島地域会5月度報告

□2025年4月14日地域会総会、オープニングセレモニー、意見交換会を開催した

- ・総会は越山副支部長が来鹿、出席者13名委任状6名の19名で成立
- ・下山議長のもと、2024年度事業計画、決算報告、監査報告、役員改選が承認され2025年度事業計画、予算案が報告され閉会
- ・18時より「災いから学ぶ構造デザイン」 講師 黒岩裕樹
- ・19時30分より鹿児島県上村技監等が出席し意見交換会を開催
- ・意見交換会に熊本地域会林田氏吉永氏にご参加いただき、林田直樹氏より災害対策の報告を行っていただいた。



JIA九州支部北福岡地域会 2025年度 活動報告(6月)その2



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

活動スケジュール

○6月

7日:福岡県建築士会懇親会

14日:玉田脇本建築事務所 ROOF HOUSE視察 玉田誠氏打ち合わせ (日韓学生WS)

18日:第一回例会

玉田脇本建築事務所 ROOF HOUSE視察

■日時:令和7年6月14日土曜日13:00~15:00

■場所:栃木県小山

■参加:松島・高濱・塩釜・宮崎地域会 小嶋氏

■報告事項

・JIA新人賞2024受賞作品 ROOF HOUSE設計者玉田誠氏による案内

・日韓学生WSの課題内容。スケジュール他打ち合わせを行なった



第一回例会

■日時:令和7年6月18日

■場所:古森弘一事務所

■参加:23名

■主な報告事項

- ・浅田シニア会員によるレクチャー
- ・洋建築設計事務所の歴史や作品の紹介を語っていただき、設楽創業者のルーツを聞けるなど貴重な会になった
- ・懇親会が開催された



JIA九州支部各地域会 2025年 5月19日～6月30日 活動報告



北福岡	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島
-----	----	----	----	----	----	----	-----

6月例会

■2025年6月18日（水）・19日（木）

■マリンメッセ福岡B館

■参加者数 各講演 約30名から60名

■6月の福岡地域会例会（一般社団法人日本能率協会主催）

○九州ホーム＆ビルディングショー2025（九州支部共催）にて

矢橋徹氏ほか3名が登壇し、講演会が開催されました。

18日13:45 道具立て、あるいは治具

矢橋徹（矢橋徹建築設計事務所）

18日14:50 土地の力を呼び起こす建築

光浦高史（DABURA.m）

19日13:45 スタジアム・アリーナを核とした、賑わいを生む

まちづくり 加野正知（梓設計）

19日14:50 創造力を育む子ども施設の設計手法

有吉兼次（ズーク）

15:35 閉会



会場風景

福岡地域会役員会（第1回）

■日時：2025年5月24日（土曜日）9:15～9:55

■場所：電気ビル共創館3FカンファレンスA

■参加人数： 13名

第9回役員会議事録確認

■審議事項

1.入退会について 2.その他

■協議事項

1.通常総会について （1）議案の説明（2）総会進行・役割確認（3）2025年度JIA九州支部福岡地域会役員会開催日程

■報告事項

1.会長報告 2.九州支部長報告 3.事業室報告 4.企画運営室報告
5.その他

九州支部・福岡地域会通常総会

■日時：2025年5月24日（土曜日）14:30～16:00

■場所：電気ビル共創館3FカンファレンスA

■参加人数： 13名

九州支部・福岡地域会 合同懇親会

■日時：2025年5月24日（土曜日）18:00～

■場所：八仙閣

■参加人数： 来賓9名・新人賞受賞者2名・正会員39名・協力会28名・事務局2名 合計80名

九州支部・福岡地域会の通常総会、会員集会終了後、九州支部・福岡地域会合同懇親会が開催されました。懇親会に先立ち、第2回九州建築新人賞の授賞式も同時に開催されました。総会後の会員集会でおこなわれた「地域会自慢」の表彰式も開催され、それぞれの地域会での活動への関心が深まりました。各地域会長が地域会自慢の補足説明や振り返り、新年度にむけた抱負を語られ、新年度の活動の期待感が高まりました。約2時間の懇親会は盛会となり、各自交流ができ、支部、地域会の結束を感じることができた有意義な時間となりました。

JIA九州支部各地域会 2025年 5月19日～6月30日 活動報告



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

福岡地域会協力会 総会・懇親会

■2025年6月24日（月）18:30～

■場所：八仙閣

■参加者：59名（協力会会員46名、JIA会員13名）

福岡地域会協力会総会および懇親会が開催されました。当日は、協力会会員のおよそ半数にあたる46名と、JIA会員13名の計59名が参加し、盛会となりました。

総会では、西井会長のご挨拶に続き、2024年度の会計報告と、2025年度の事業計画が報告されました。また、昨年度開催された「JIA建築家大会2024別府」を振り返るとともに、今年度のイベントとして、8月8日に予定されているボウリング大会の案内も行われました。懇親会では、各テーブルで協力会会員と正会員が活発に交流し、親睦を深めました。余興としては恒例のポールダンスが披露され、参加者の追加会費によってさらに盛り上がる楽しいひとときとなりました。今回の総会および懇親会を通じて、協力会と福岡地域会とのつながりが一層強まり、有意義な交流の場となりました。



JIA九州支部各地域会 2025年度 6月 活動報告



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

■長崎地域会第2回例会・技術セミナー(2)

日時：2025年6月30日（月）17:00～19:00

場所：リモート開催

●第2回 会員による技術セミナー 佐々木信明氏

・近作を交えて建築を語る

・参加者による質疑応答と意見交換



・登壇者 (株) INTERMEDIA佐々木信明氏



・長崎県立図書館 郷土資料センター長崎市図書館2022年



- ・建築の構造部材と空間のスケール感を成立させる、構造計算の手法や建築確認申請取得のテクニックについて
- ・高低差のある敷地などでレベル変化の多い内部空間構成について、バリアフリー法や福祉条例の取り扱いについて
- ・木造、木質空間の内装制限の回避テクニックについて、松材の塗装仕上げ材により不燃認定を取得できる特殊塗装の紹介

●第2回例会

○報告事項①九州支部役員会について

- ・建築学会レムコールハース講演会の進捗について
- ・建築家大会2024別府の収支決算報告と報告書について説明
- ・第2回九州建築新人賞について結果報告と、第3回の説明
- ・地域交流会の熊本開催と日程内容説明、積極的参加お願い
- ・九州建築塾の北福岡開催について説明、塾生派遣お願い
- 協議事項①長崎ピーススタジアム仙田満氏講演会について
- ②8月9日10日の佐世保方面建築街並み視察について
- ③9月27日28日の佐賀地域会共催セミナー研修について



・福岡ピノキオこども園2022年/九州建築新人賞受賞



・南畠ピノキオ森のこども園2022年



・いちご保育園2022年



JIA九州支部各地域会 令和7年5月～令和7年6月 活動報告



北福岡 福岡 佐賀 長崎

大分 熊本 宮崎 鹿児島

■2025年度 第2回例会

日時 2025年6月17日（火） 18:15～19:45
 場所 「J:COMホルトホール」 408会議室
 出席者 34名
 会員出席者12名 委任8名 欠席2名 総数22名 (20/22)
 協力会員出席者 21名 会員外1名

◆内容

◇報告事項 竹宮会長
 ○支部役員会関係
 5月24日に九州支部通常総会および第1回役員会が開催された地域会の自慢を行う企画で、最優秀賞を受賞した
 ○大分地域会
 ①アートプラザ「ピックアップアーキテクト展」協賛決定
 ②三会合同企画（案：工業高校の生徒を大阪万博に連れていく）について引き続き協議
 ③ホームページの更新の件「まかせて！」5月21日、合同新聞社、デジタルバンクと契約 合わせて協議を行った
 ④協力会 有限会社カネサダ横尾木工所様を承認頂いた
 ⑤年会費請求書のメールで送付した件について再度通知
 ○その他
 ・重田前会長に感謝状の記念品の贈呈を行った
 『7年間ありがとうございました』



4.例会企画 司会 西村会員

○協力会発表
 (株)エコプラン 「鉄骨造から木骨造へ」
 SE構法について発表していただいた

(株)エコプラン 岩田様



(株)エヌ・シー・エヌ 大口様

TOTO株式会社「改正バリアフリー法と新商品紹介」
 ハートビル法についてのトイレ廻りのレイアウトや商品について説明していただいた



TOTO(株) 小西様 重留様

JIA九州支部各地域会 2025年5月 活動報告

北福岡 福岡 佐賀 長崎 大分 熊本 宮崎 鹿児島

熊本地域会月例会（第2回）

■日時 2025年5月22日（木）18:30～

■場所 熊本市国際交流会館 4F 第2会議室

■参加人数14名

1.審議事項、協議事項

1-1.住宅賞

・審査日程：2025/09/20(土) 選定委員予定確保済み

・場所：PSオランジュリ1階

・選定委員（審査員？）※敬称略

委員長

田中 智之 / 早稲田大学教授・TASS建築研究所 代表 ※東京

委員

佐藤 かつあき / (株)かつあき 代表取締役※クリエイティブ・イルクター・熊本

井手 健一郎/rhythmdesign 代表取締役※建築家・福岡市

平山 武久/ビーエス(株) 代表取締役※東京？

矢橋 徹/矢橋徹建築設計事務所 代表※熊本

・謝礼（交通費）2万円

・賞金 最優秀10万円、優秀賞2万円×3

1-2.建築家作品展

・日程：9/15(月)～9/21(日) ※PSと調整中

・場所：PSオランジュリ2階

・PSより、一緒に何か行いたい、人が多く来るようになしたい

・展示空間は段ボールまたは吸ホル養生ボードで構成予定

1-3.地域交流会 支部役員会：9/20(土)13:30～16:30

地域交流会

・日程：2025/09/21(日)午前中

・コーディネーター長野さん+α 参加人数による

・費用：500円/人 予算は1万円で計上

・資料は長野にて手配予定

九州支部持ち出し役員会

・日程：2025/09/20(土) 13:30～16:30

・場所：検討（早川倉庫？）

1-4.CPD 今回なし、次回の予定確認

熊大准教授 唐木氏

参加人数確認

2.報告事項

2-1.支部役員会・各委員会より

特なし

2-2.地域会会費、口座について

・地域会会費の振込依頼

・口座名は現在林田、今後会計交代時に「会計〇〇」としてはどうか。

支部事務局は支障なしと確認済。

口座名は個人名を削除してもいいのでは？

3.その他

八代博物館来年改修工事

4.閉会 21:00 次回：例会6/26(木)18:30～

JIA九州支部各地域会 2025年6月 活動報告

北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

熊本地域会月例会（第3回）

- 日時 2025年6月26日（木）18:30～
- 場所 熊本市国際交流会館 4F 第2会議室
- 参加人数13名

1.審議事項、協議事項

- 1-1. 住宅賞 審査9/20(土)
 - チラシ印刷発注1400部
 - 建築士会の会報に同封
 - 建築事務所協会、審査機関にチラシ（住宅センター、ERI、熊検、ACS）
- 1-2. 建築家作品展 9/15(月)～9/21(日)
 - 会場PS 次回に企画書製作
- 1-3. 地域交流会 9/20(土)・9/21(日)
 - 次回に企画書製作
- 1-4.CPD 今回なし、次回の予定確認
 - 次々回は公開もありかも
 - 次回まちなみみトラスト竹田氏

2.報告事項

- 2-1.支部役員会・各委員会より
 - 5/24(土) 支部会員集会、総会
 - 2-2.地域会会費、口座について
 - 地域会会費の振込依頼
- 会計振込確認

3.その他

- 建築家大会 交通費宿泊費の現金還元
 原田よりJIA福井との親睦会の案内（10/4）
 建築相談（荒尾 家の沈下相談）高井事務所で対応

4.CPD

- 「環境と融和する建築」
 唐木 研介 氏（熊本大学工学部建築学科 准教授）



CPD研修6月26日 20時

- 「環境と融和する建築」
 唐木 研介 氏（熊本大学工学部建築学科 准教授）

小泉アトリエでの実験住宅、プロポーザルでの公共建築、そして独立後の住宅等の具体的プロジェクトを通して環境と建築がどのように作用するのかを考える貴重なレクチャーとなった



第13回 JIA 熊本住宅賞

募集開始

日本建築家協会 九州支那 熊本地域会 主催

第13回 JIA 熊本住宅賞

募集期間 7月3日(月)～8月31日(日)必着

（株）JIA アーキテクツ 熊本住宅賞係
 Tel: 0966-83-8024
 Mail: jia9.kumamoto@gmail.com
 詳細は裏面をご覧ください。掲載写真は第12回受賞作品

前回の受賞作品、審査員のコメントは
 JIA九州支部HPよりご覧いただけます
<https://www.jia9.org/archive/kumamoto>

QRコードから直接アクセス可能です

JIA九州支部各地域会 2025年6月～ 活動報告

北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島



宮崎地域会例会 第2回

日時：6月12日 木曜日 18:30～19:45

場所：宮崎ガスリビング

参加人数：5名+1名（宮崎ガス）

1. 報告事項

- ・2025.05.24 九州支部総会について
- 1. 議案第1号 2024年事業報告の件。
- 2. 議案第2号 2024年度収支計算書報告等の件。
- 3. 議案第3号 役員改選の件。
- 4. 議案第4号 地域会規則改正の件。

全て原案通り承認されたことを報告

また本部理事交代について報告

下山氏（鹿児島）→重田氏（大分）

2. 協議事項

- ・来年度の九州支部大会の開催地が宮崎である件について
実行委員会の立ち上げ
支部大会の内容協議
- ・宮崎日日新聞からの依頼の件について

□ 協力会員の時間 … 宮崎ガス 財部氏

- ・宮崎ガスの新サービスについて



JIA九州支部北福岡地域会 2025年度 活動報告(7月)その1



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

活動スケジュール

○7月

- 2日：日韓学生WS実行委員会(WEB)
- 5日：九州支部第2回役員会(WEB)
- 17日：日韓学生WS実行委員会(WEB)
- 18日：建賛会主催 3団体交流ビアパーティ
- 24日：まちづくり研究セミナー補助金打ち合わせ

日韓学生WS実行委員会

- 日時：令和7年7月17日木曜日10:00-11:00
- 場所：ZOOM
- 参加：玉田誠氏・脇本夏子氏・古森・永澤・安東・後藤・金子・高濱・塙釜
- 報告事項
 - ・日韓学生WS・建築塾の課題決定

3団体交流ビアパーティ

- 日時：令和7年7月18日金曜日19:00-21:00
- 場所：リーガロイヤルホテル リーガトップ
- 参加：12名
- 報告事項
 - ・法人協力会員の建賛会と北九州設計監理協会との3団体交流ビアパーティ
 - ・建築家大会2024別府の協賛の御礼



JIA九州支部各地域会 2025年7月1日～7月31日 活動報告



北福岡 福岡 佐賀 長崎 大分 熊本 宮崎 鹿児島

7月例会

■2025年7月16日（水）

■フェアバンクス

■参加者数 58名

■7月の福岡地域会例会

○第1回JIA九州建築新人賞を受賞された佐々木翔氏と平野公平氏

お招きして、講演会を開催しました。

18:00 例会挨拶（有吉地域会長）

18:05 協力会セミナー（株）

18:15 佐々木翔講演会 設計と水脈mioや地域活動も含

む幅広い視座と身体スケールの設計に迫る

19:00 平野公平講演会 場所と架構というテーマでこれ

までの活動を振り返り設計手法を読み解く

19:50 トークセッション 質疑応答

20:15 閉会



フライヤー



会場風景

福岡地域会役員会（第2回）

■日時：2025年7月12日（土曜日）17:00～18:30

■場所：JIA九州支部事務局

■参加人数：12名

第1回役員会議事録確認

■審議事項

1.入退会について 2.JIA建築家大会2024別府補助について 3.その他

■協議事項

1.2025年度例会について 2.まちと建築展について 3.その他

■報告事項

1.会長報告 2.九州支部長報告 3.事業室報告 4.企画運営室報告

5.その他



JIA九州支部各地域会 2025年7月1日～7月31日 活動報告



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

四季の会福岡

■2025年7月24日（木）

■いそざき

■参加者数14名

2025年7月24日、「四季の会福岡」を開催いたしました。「四季の会」とは、終身会員の皆様を囲み、会員相互の親睦を深めることを目的として、1990年に発足した会合です。

今回は、福岡地域会の名誉会員、フェロー会員の先輩方を含む14名の皆様にご参加いただきました。30年前の福岡地域会での活動の思い出や、現在の近況報告、さらには今後の展望など、多岐にわたる話題で盛り上がり、懐かしくも楽しいひとときを過ごすことができました。今後も定期的に開催し、会員同士の絆を深めてまいりたいと考えております。



会場風景

JIA九州支部各地域会 2025年度 活動報告



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

佐賀地域会役員会

■日時：2025年7月28日（月）17:00-19:00

■場所：zoom

■出席者：6名

勉強会

- ・株式会社エフワンエヌ（防水工事について）
- ・ベクターワークスジャパン株式会社（BIMについて）
- ・質疑応答及び発表に関する意見交換



JIA九州支部各地域会 2025年度 7月 活動報告



北福岡 福岡 佐賀 長崎

大分 熊本 宮崎 鹿児島

■長崎地域会第2回役員会（リモート開催）

日時：2025年7月16日（水）14:00～15:30

主席者 6 名：松本、一丸、平松、田中、平松、久家

- ・別府大会最終収支決算とスタッフ補助の最終確認
 - ・九州支部事業、地域交流会と建築塾に関する協議
 - ・長崎地域会建築街並み視察に関する協議
 - ・来年度以降の地域会新規公益活動に関する協議



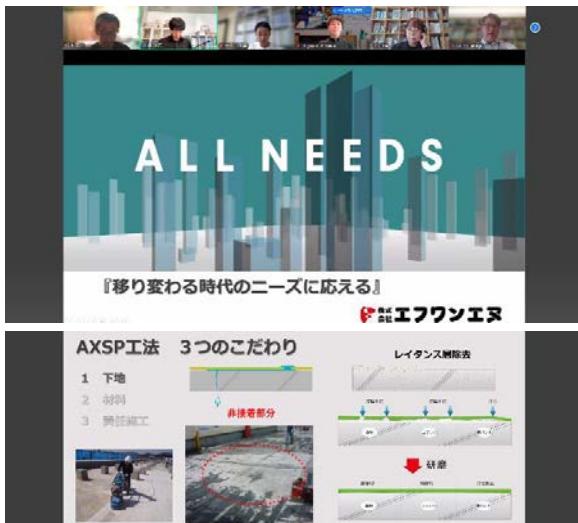
■長崎地域会第3回例会・技術セミナー(3)

日時：2025年7月28日（月）17:00～19:00

場所：リモート開催 参加者：13名

●佐賀地域会協力会員による技術セミナー3

(株)エフワンエヌ塗膜防水材、研磨仕上クリスタルハード



ベクターワークスジャパン株式会社（塩澤 茂之 氏）

- ・ベクターワークスのBIM機能について
 - ・BIMによる確認申請について



●第3回例会

○報告事項①長崎地域会新規協力会員の入会について

- ・株式会社黒田板金工業（板金工事）担当：白鞘氏
 - ②地域交流会の熊本開催と日程内容説明、積極的参加お願い
 - ③九州建築塾の北福岡開催について現時点で3名塾生確保
 - 協議事項①長崎ピーススタジアム仙田満氏講演会について
 - ・日程：12月2日（火）17：30～の方向で進める
 - ②9月27日28日の佐賀地域会共催セミナー研修について
 - ③熊本地震記録誌と建築家大会2024報告書は図書館寄贈とする
 - ④長崎地域会2026年度の新たな公益活動について
 - ・本部及び支部の補助金なども活用し継続性のある事業とする
 - ・今年度内容を固めて、来年度以降の事業活動開始とする
 - ・対象を県内高校生とし、出前職能講和やZOOM併用、動画制作・作配信、現場見学会や建築家派遣などあらゆる可能性を探る

JIA九州支部各地域会 令和7年5月～令和7年6月 活動報告



北福岡	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島

■2025年度 第3回例会

日時 2025年7月15日（火） 18:15～19:45
 場所 「J:COMホルトホール」 410会議室
 出席者 29名
 会員出席者13名 委任8名 欠席1名 総数21名 (21/22)
 協力会員出席者 13名 会員外3名

◆内容

◇報告事項 竹宮会長

○支部役員会関係

- 建築塾が10/24～26に北九州市で行われる
- 大分地域会から1名参加する予定
- 地域交流会を9/20に行うよう熊本会にて調整中
- 熊本住宅賞の授賞式、審査講評と同時開催となる予定
- 支部役員会にて協議された、旅費規定、支部運営費、登録建築家制度、他委員会、理事会議等について報告があった

○大分地域会関係

- 賛助会員として申込をいたしました「有限会社カネサダ横尾木工所」様の入会が正式に承認された
- 大分地域会のホームページリニュール作業を進めている
- 更新に際し、要望があった場合は早めの対応をお願いしたい

○その他

6/24に行われたJIA本部通常総会におきまして、重田信爾会員の本部理事就任が承認された

4.例会企画 司会 西村会員

○協力会発表
 株式会社勉強堂 片山 勇 様
 「AI時代の建築：設計士が活かすテクノロジーの力」

AIの導入初期から設計業務での活用可能性に至るまで、段階的かつ具体的に示された講演だった。ChatGPTやGeminiによる情報整理・発想支援、NotebookLMの文脈理解力など、生成AIの特性を的確に捉えた解説に加え、3Dプリンターやスマートグラスといったデバイスの実務への展開も非常に示唆に富んでいた。新しいツールに振り回されるのではなく、自分の判断軸を持ったうえでどう選び、どう使うのか。設計士として、これから技術とどう向き合うべきかを改めて問い合わせる貴重な機会となった。（早速ChatGPTでこの感想を作成してみました）



株式会社勉強堂 片山 勇 様

JIA九州支部各地域会 2025年7月 活動報告

北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

熊本地域会月例会（第3回）

- 日時 2025年7月24日（木）18:30～
- 場所 熊本市国際交流会館 4F 第2会議室
- 参加人数13名
- 1.審議事項、協議事項
 - 1-1. 住宅賞 審査9/20(土) 周知済み 7/15現在1件
各審査機関への広報確認
 - 1-2. 建築家作品展 9/15(月)～9/21(日)
模型をベースにした展示 進行中のプロジェクト
出展者のハードルを下げたほうがいいのではないか?
出展者はBタイプ（現場が熊本にして間口を広げる）
準備に時間がかかりそうなのでちょっと遅いのではないか?等々 意見あり
出展予定8名
模型、パネルサイズの指定あり?映像もあり?
→担当の矢橋会員と再検討後メールにて企画案送付する
 - 1-3. 地域交流会 9/20(土)・9/21(日) 担当:山室、林田
- 2.報告事項 特になし
- 3.その他
 - ・JIA福井との親睦会（10/4）
 - ・八代厚生会館7/27講演会（音響）
 - ・10/18震災ミュージアムの見学ツアー、スタッフ5名程度必要
 - ・福岡の有吉氏より能登復興会議の打診（原田）
 - ・上田憲二郎氏より本寄贈
- 4.CPD 19:30～ 「熊本の防災碑」 竹田 宏司 氏（熊本まちなみストラスト事務局長）
- 5.閉会 21:00 次回：例会7/24(木)18:30～



CPD研修7月24日 19時30分

- 「熊本の防災碑」
竹田 宏司 氏（熊本まちなみストラスト事務局長）

竹田氏は考古学が専門で、熊本市、玉名市に勤められ、博物館館長を最後に行政を退職された。現在は土木系コンサルタントの仕事をする傍ら、建築の保存やまちづくり等活発に活動している。最近では熊本まちなみストラストの事務局長も務められている。

今回は、熊本県内の防災碑（自然災害伝承碑）を通して災害の歴史を学び、防災、建築計画に生かそうというレクチャーであった。

竹田氏が所属されている会社は一般的にイメージするような土木系コンサルだけではなく石橋等の文化財の修復なども行う。今回紹介されたのは国土交通省の「阿蘇カルデラ周辺風土特性調査」という業務の中から自然災害伝承碑を紹介され、阿蘇以外の自然災害伝承碑についても紹介された。

普段何気なく見ている石碑の裏には建立の目的、被害状況等が記載され文字通り自然災害を伝承している。この自然災害伝承碑を計画に活かすべきとの言葉にハッとさせられたレクチャーであった。

第13回 JIA 熊本住宅賞 ※募集中



JIA九州支部各地域会 2025年7月～ 活動報告

北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島



宮崎地域会例会 第3回

日時：7月10日 木曜日 18:30～19:45

場所：宮崎ガスリビング

参加人数：4名+1名（宮崎ガス）

1. 報告事項

- ・2025.07.05 九州支部役員会について … 小嶋会員
- 1.9/10 建築学会全国大会（福岡開催）
 - … 九州支部から10万円協賛する。
- 2.9/20 熊本地域会で行う交流会について
 - … 同時開催の役員会を午前から行う予定。
- 3.10/18 熊本にてフィールドトリップ開催
 - … 震災ミュージアムにて
- 4.10/25 建築塾（北福岡地域会）
 - … 新人賞受賞者玉田氏、脇本氏参加。
 - … 日韓ワークショップと同時開催の予定。

参加費：30,000円/人



2. 協議事項

- ・九州支部旅費規程の見直しについて … 7月支部役員会での議案
 - 他地域会の事例を見ながら検討。
 - 基本方針として当日の朝出発し13:30～の役員会に間に合うよう現実に即した経路で試算する
 - 北福岡、福岡、佐賀、長崎 → 飛行機 + JR にて試算する。
 - 熊本 → 車にて試算する。
 - 大分、鹿児島 → JR にて試算する。
 - ※ 各料金については根拠を提示する。
 - ※ 車移動の場合ガソリン代は15km/l にて試算する。
 - ※ 航空機料金については2週間前の予約料金で計上する。

3. その他

- ・四会合同セミナーについて現状報告
 - … 開催地：延岡 開催日：2026年2月14日（土）
 - 玉田脇本建築設計事務所 … 玉田氏
 - 6/30日返信有 … 出席について快諾していただいた。
 - 森田一弥建築設計事務所 … 森田氏
 - 7/8日返信有 … 出席について検討してみるとの事。
- ・協力会員の時間
 - Ykkapへ卓話依頼
 - 省エネ法関連の金属製建具の取り組みについて
 - 9月例会にて実施予定
- ・九州支部大会関連のための10月例会変更について
 - 会員及び協力会員に周知を行い、参加を募る。

※会議後

- 玉田脇本建築設計事務所のJIA新人賞受賞作品について
 - 小嶋氏が持参してくれた掲載雑誌を見ながら四方山話し。

以上

JIA九州支部各地域会 2025年7月 活動報告

北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島



鹿児島地域会報告

□2025年5月23日地域会定例会、意見交換会をレシフェで開催

- ・会員8人、専門会員1人が出席
- ・前回議事録等の確認

□教育会館要望書について

- ・7/30に事業者、7/31に財団・県・市に提出予定。

□日韓交流

2025年10月13日（月・祝）～15日（水）に決定、13日は、知覧麓
加世田麓、指宿を案内。14日は県、市、大学に表敬訪問。15日は
空港へ送迎



□25年賞 8/18締切 霧島アートの森を推薦する

□8月22日（金）合同例会について ホテルサンスティ、協力会員
のレクチャー2社予定

□鹿児島会賞について 2026年2月21日 建築展2/22～23とし
薩摩運輸倉庫の空き状況確認する

□九州・沖縄設計4団体セミナー、懇談会 10/20 鯉坂参加予定

□HPでの情報発信について→更新と勉強会を志賀さんへ依頼する
次回は合同例会 8月22日 ホテルマイステイズ鹿児島天文館
次々会定例会 9月16日 マークメイザン（オープンレクチャー）



JIA九州支部北福岡地域会 2025年度 活動報告(8月)



北福岡	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島
-----	----	----	----	----	----	----	-----

活動スケジュール

○8月

- 2日：九州支部役員会(WEB)
- 6日：日韓学生WS + 建築塾実行委員会 (WEB)
- 16日：日韓学生WS + 建築塾 課題発表会 (WEB)
- 21日：福岡県建築都市部營繕設備課意見交換会
- 23日：福田会員壮行会in田川

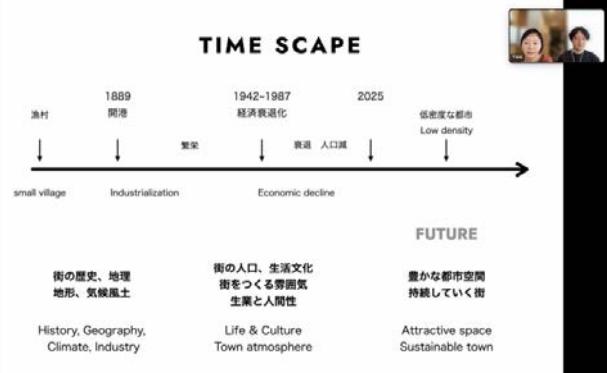
福田会員壮行会in田川

- 日時：令和7年9月23日14:00-20:30
- 場所：田川 熊谷邸
- 参加：福田、杉野、藤本、浅田、佐久間、服巻、松島、戸村、加藤、塩釜
- 報告事項
 - ・福田会員のロンドン赴任（1年間）壮行会
 - ・建築25年賞推薦作品でのバーベキューパーティ
 - ・懇親を深めた



日韓合同学生ワークショップ+建築塾 課題発表会

- 日時：令和7年8月16日
- 場所：リモート 10:00~12:40
- 参加：玉田誠講師・脇本夏子講師+古森建築塾講師+佐々木支部長+日本6大学6チーム+韓国6大学6チーム+建築塾塾生10名+JIA・各大学教授（計90名）
- 報告事項
 - ・日韓学生WS + 建築塾の課題発表会
 - ・玉田脇本両講師によるショートレクチャー
 - ・課題発表
 - ・古森建築塾講師による塾生リクリエーション



JIA九州支部各地域会 2025年8月1日～9月15日 活動報告



北福岡 福岡 佐賀 長崎 大分 熊本 宮崎 鹿児島

8月例会

■2025年8月28日（木）

■ボタニカルライフスクエア

■参加者数 80名

■8月の福岡地域会例会

○ボタニカルライフスクエアを設計した村上明生氏と重松正幸氏

による講演会と司会に松山将勝氏を加えた鼎談、更には構造家

木村洋介氏と荒木康佑氏、建築家塚川譲氏と杉本泰志氏を迎

多岐に渡る建築と構造の諸問題について議論を深めた。

18:00 例会挨拶（有吉地域会長）

18:05 協力会セミナー（株）カッシーナ・イクスシー

18:20 村上明生x重松正幸対談+松山将勝鼎談

19:00 建築家3人VS構造家3人によるトークバトル

20:30 参加者とのトークセッション 質疑応答

21:00 閉会



会場風景

建築相談

7月29日から9月15日は下記の相談対応を行いました。

○8月21日福岡 老朽化したビルの活用についての相談

(担当：武本・今井)

福岡地域会役員会（第3回）

■日時：2025年8月9日（土曜日）17:00～18:30

■場所：JIA九州支部事務局

■参加人数：7名

第2回役員会議事録確認

■審議事項

1.入退会について 2.その他

■協議事項

1.まちと建築展について 2.25年賞について 3.その他

■報告事項

1.会長報告 2.九州支部長報告 3.事業室報告 4.企画運営室報告
5.その他

行政連絡

■福岡県建築確認円滑化対策連絡協議会 総会に出席

■日 時：令和7年9月1日（月）14時30分～

■場 所：福岡県吉塚合同庁舎 6階 Y603A会議室

当日は、特定行政庁・確認審査機関・各建築団体から計28名が参加しました。令和7年4月に施行された改正建築基準法および改正建築物省エネ法を踏まえ、現状に関する意見交換を実施。審査期間や検査の長期化といった課題に加え、電子化推進に向けた取り組みなどについて、各参加者から意見や報告がなされました。

(担当 有吉兼次)

JIA九州支部各地域会 2025年8月1日～9月15日 活動報告

北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島



タキビナイト

事務局岩本さんの企画による針葉樹や広葉樹の木材サンプルを燃やしながら木の特性を関する学習を行いました。道管構造や硬度の違いにより燃え方に差異が生じることを確認し、木材の特性を深める有意義な機会となりました。7名参加（担当 岩本嘉子）



多種多様な木材サンプル



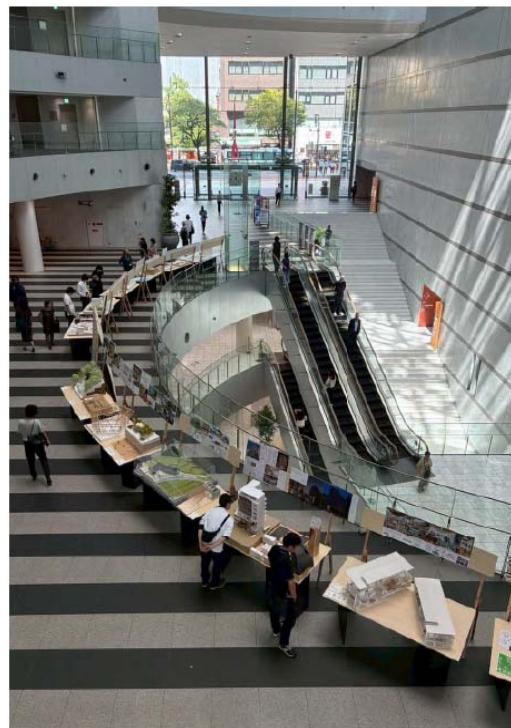
パソコン用いて木の特性を解説



燃焼実験学習風景

まちと建築展（速報）

■まちと建築展
 ■場所：アクロス福岡 1Fアトリウム
 ■期間：2025年9月9日～9月14日の6日間 10:00～17:00最終日9/14は16:00まで 入場無料
 ■出展者 福岡地域会会員 19名
 ■同時期には、日本建築学会の全国大会が福岡で開催されており、全国各地からの建築関係者をはじめ、親子づれや子どもたちなど一般市民の方々にも数多くご来場いただきました。9月9日から14日までの6日間で、延べ約6,000名を超える方々にご覧いただくことができ、大変盛況のうちに終えることができました。会場では福岡を拠点に活動する建築家19名による模型やパネル展示を行い、作品や設計思想をわかりやすく紹介しました。展示物を通じて、建築の楽しさや地域に根差した建築文化の魅力を来場者に広く発信することができました。出展者やサポートいただいた皆さんに心よりお礼申し上げます。（担当 村上明生）



会場風景

JIA九州支部各地域会 2025年度 8月 活動報告

北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島



■長崎地域会建築・街並み見学会

日時：2025年8月9日（土）10日（日）CPD登録申請建築視察

参加者12名：長崎地域会員10名、同伴者1名、佐賀地域会1名
今年度新たに正会員として入会いただいた中村氏、廣川氏が活動の拠点とする佐世保エリアで建築物と街並みなどを視察し、建築家としての知見を深めるとともに、佐賀地域会より川崎会長にもご参加いただき、親睦を深めることができた。

①西海町ホゲット 設計：（株）INTERMEDIA
地方で一般的にみられる古民家ではない昭和の典型的な木造住宅をリノベーションし地域拠点として活用した事例。奥まった敷地と高低差を逆手にとり、耐震補強要素として外部に付加したL型の屋外空間により開放的な内部と外部を繋ぎ、様々なイベントで地域に活力を与えることに成功している。



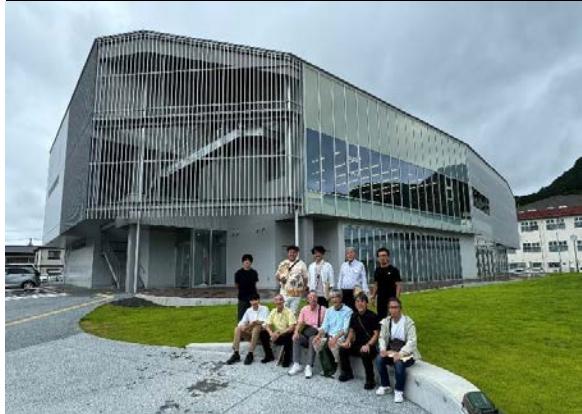
街と建物をつなぐ基壇テラスにて集合写真



内部空間はカフェ、地域物産などの店舗として地域に開放

②佐々町新庁舎 設計：遠藤克彦建築研究所

公募型プロポーザルで設計者が選定され、2025年7月に供用開始となった新庁舎。工事段階での設計変更や現場監理体制など話題となった建築だったが、行政側担当者からは本音の苦労話も伺うことができた。機能空間が立体入子状で動線やヴォイドでつながる構成とその外観が実現されていた。



庁舎裏側でありながら象徴的なファサードにて集合写真



建築の中心に位置しトップライトから自然光の落ちる議場

③角屋ヘリテージ リノベデザイン：アルセッド建築研究所
平戸市が世界初のアルベルゴディフーゾタウン認証を受けて2025年6月にオープンした宿泊施設。今回の視察ではメインの平戸市街から少し離れた2次漁港田助地区を宿泊と懇親会の場所として選択した。まだエリアとしての施設充実度は低いが、今回訪れた2建築はいずれも見応えのあるものだった。



建築に惚れ込みオランダから移住したオーナーのレムコー氏

JIA九州支部各地域会 2025年度 8月 活動報告

北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島



既存躯体の美しさを引き出したリノベデザイン

④廻船問屋 明石屋 国登録有形文化財建築

正式名称永山家住宅はもと廻船問屋「明石屋」で田助漁港の中心に位置する木造2階建て切妻瓦葺屋根建築。隠居と中庭、荷揚用滑車が現存する中央吹抜け、彫刻欄間や箱階段など内部意匠の細工に趣向がこらしてある。2階には幕末の西郷隆盛、高杉晋作、桂小五郎、坂本龍馬の密談場所となった隠し部屋がある。



角屋ヘリテージの食事提供施設となっており徒歩3分



国有形文化財の空間での懇親会は佐世保のお二人を囲む会

⑤THE曜テラス 佐世保アルベルゴのレセプション施設

リノベデザイン：（株）イチバンセン 建築家 川西康之

200年前の米蔵を改修し、平戸アルベルゴディフーゾタウンの拠点施設として整備している。建築の外観から内部機能までAD協会イタリア事務局の現地視察や指導の下、厳しい基準をクリアして世界初の認定自治体となっている。エリア一帯に散在する各種施設のレセプション機能を果たしている。



エントランスホールにて行政担当者より概要説明をうけた

- ・エリア施設に宿泊および飲食提携施設利用の条件で、行政視察としての受け入れを許諾いただいた。
- ・平戸市観光課担当/三井田氏、観光連盟担当/小川氏よりまちづくりの経緯から協会認定、質疑応答など大変丁寧な対応を頂いた。



曜テラスの2階は宿泊施設となっており、29, 850円/1名1泊

JIA九州支部各地域会 令和7年7月～令和7年8月 活動報告



北福岡 福岡 佐賀 長崎 大分 熊本 宮崎 鹿児島

■2025年度 第4回例会

日時 2025年8月19日（火）18:15～19:45
 場所 「J:COMホルトホール」 403会議室
 出席者 30名
 会員出席者10名 委任10名 欠席2名 総数20名 (20/22)
 協力会員出席者 16名 会員外4名

○大分地域会関係

司会 山崎会員
 ・ホームページ作成の件について、進捗状況、掲載内容の資料提出の協力と、デジタルバンク様からの確認連絡をお送りする件、先日お送りしたDATA準備の件、また募集期間等の説明を行いました。



◆内容

報告事項

- 支部関係 竹宮会長
 ・建築塾について 大有設計より1名参加 参加費および交通費等を補助予定
 ・9/20(土)10時より熊本にて地域交流会・支部役員会を開催
 ・JIA建築家大会2025千葉大会の募集開始
 ・九州建築選 希望者への配布 8/22締切
 ・10/18(土)にフィールドトリップ開催 熊本地震震災ミュージアム「KIOKU」講師に設計者であるo+h(オープラスエイチ)百田 有希(ひゃくだ ゆうき)氏による講演
 ・10/20(月)に九州・沖縄設計四団体セミナー 竹宮参加予定



4.例会企画

司会 一宮幹事
 ○新入会協力会員自己紹介
 有限会社カネサダ横尾木工所 横尾昌紀 様
 木材における建材の製造販売を行い、燻製処理やハイブリッド集成パネルの製造も行うなど、会社案内をしていただきました。



JIA九州支部各地域会 2025年8・9月 活動報告

北福岡	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島
-----	----	----	----	----	----	----	-----

熊本地域会月例会（第4回）

- 日時 2025年8月28日(木) 18:30~
- 場所 熊本市国際交流会館 3F 研修室3
- 参加人数10名
- 1.審議事項、協議事項
 - 1-1. 住宅賞 審査9/20(土) 周知済み 7/15現在 1件
 - ・8/28現在2作品、見込み10作品
 - ・当日のスケジュール、準備物確認
 - 1-2. 建築家作品展 9/15(月)~9/21(日)
 - ・出展者（JIA関係）上野、原田、坂本、長野、丹伊田、林田、吉永、矢橋+その他6名
 - ・フライヤー配布
 - ・9/15 8時準備全員参加 13時ギャラリーツアー
 - ・受付：出展者全員+JIA全員 今後調整
 - ・9/21 18時撤収
 - ・出展者はCPD登録を予定
 - 1-3. 地域交流会 9/20(土)・9/21(日) 担当：山室、林田
 - ・懇親会：18時 グリルクドウ 8,000円
 - ・住宅賞審査員は懇親会招待
 - ・開催案内 街歩きツアー500円
- 2.報告事項
 - 2-1.支部役員会・各委員会より
 - ・10/18フィールドトリップ
 - ・10/24JIA建築塾（地域会から1.5万円補助）
 - ・11月千葉全国大会
 - ・10/17 17時半JIAマンスリーけんばいの説明 山室
 - ・災害対策委員会 床下2000棟 床上2000棟被害（建築士会 事務所協会）
 - ・能登半島 ミツバチ協力会 弁護士と建築家が巡回 9月に林田参加 今後協力依頼あるかも
- 3.その他
 - ・CPD 矢橋会員2027年1・2月頃。
 - ・住宅賞公開審査、地域交流会もCPD登録依頼
 - ※CPD登録申請間に合わず
 - ・2024建築家大会 旅費精算
- 4.閉会 20:30 次回：例会9/25(木)18:30~

第35回 熊本の建築家作品展 ギャラリーツアー

- 日時 2025年9月15日(土) 13:00~
- 場所 PSオランジュリ
- 参加人数40名
- 作品展初日の9/15(土)にギャラリーツアーを開催。会場であるPSオランジュリの建物概要、設備（輻射式空調）をPS工業の方よりレクチャー。その後、作品展出展者により各作品の概要説明。



JIA九州支部各地域会 2025年9月 活動報告



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

鹿児島地域会報告

□2025年8月22日地域会定例会、合同例会開催 ホテルサン

スティで開催。会員11人、協力会10人参加

・協力会2社よりプレゼンテーション

□教育会館見学会

・8/27、28に実施。約450人が来場 現在報告書作成中

□地域会定例会、オープンレクチャー マークメイザン

会員15人、オープンレクチャーは酒井会員がレクチャー、オフグ

リット住宅の自宅、地球環境や奄美の地域でのまつりやしきたり。

協力会3人、約50人が会場参加、約40人がWEBで参加。'

□日韓交流（予定）

2025年10月13日（月・祝）～15日（水）に決定、13日は、知覧麓

加世田麓、指宿を案内。14日は県、市、大学に表敬訪問。15日は空港へ送迎

□小野田学会長来鹿の件（9/23）→知覧麓加世田麓を案内

□はしご会（青森地域会交流） 下山 宮崎 岩田で参加予定

□HPでの情報発信について→更新と勉強会を志賀さんへ依頼する

次回は 10月14日 15日の日韓交流

次々会定例会 12月4日 マークメイザン（オープンレクチャー）



9月13日オープンレクチャー 講師は奄美の会員酒井氏



9月13日定例会・オープンレクチャー後の意見交換会



8月22日合同例会

編集後記

気づけば、九州支部の新しい広報委員会がスタートしてからもう1年半。

2024年5月に佐々木寿久支部長が就任し、九州支部の広報担当として吉永啓さん、一丸康貴さん、小嶋啓美さん、そして本部広報委員として私・佐々木信明の4人で、新しい広報体制が動き出しました。

ところが、思うようにいかないのが現実で……。

昨年度は「Bulletin」の発刊が見送りとなり、次こそは！と今年度は気持ちを温めながらの再スタート。ようやくこの秋、二期目にして念願の発刊となりました。今回のテーマは、「JIA建築家大会2024別府」の舞台裏。企画・広報・パーティ・エクスカーションなど、それぞれの持ち場で奮闘した会員たちが、開催当日から遡ること一年、実行委員会として積み重ねてきた準備の日々と、あの3日間の思い出をあわせて綴っています。

苦労もあったけれど、読めば不思議と笑えて、あの日々の

本部広報委員 佐々木 信明
熱気や喜びがよみがえってくる——そんなページになりました。

誌面には、準備の合間の自然体で撮影した写真や、打ち合わせ中の真剣な表情、パーティでの笑顔まで、普段はなかなか見られない“素の建築家たち”的姿がたくさん登場します。

写真を並べながら、「みんな、いい顔してるなあ」と編集しながら何度も感じました。

この一冊は、広報委員会にとっても「新しい一步」です。思うように進まない時期もありましたが、ようやく形になった今、次の号に向けてまた動き出そうという気持ちが自然と湧いてきます。

九州の建築家たちの姿や言葉を、これからも丁寧に伝えていけたらと思います。

次号では、また新しい視点から“九州の建築の今”をお届けします。どうぞお楽しみに。

編集後記

他の地域会の方々と活動する機会が少ない私にとっては、広報委員のメンバーとWeb上ではあるものの顔を合わせて行う会議は少し緊張もありましたが嬉しい時間でした。広報委員の方々が建築家らしいセンスで作業を進める中で、ほとんど何も役に立つことが出来ないままでしたが「JIA九州ブルテン建築家大会記録」が完成していく過程を広報委員の皆さんと共有できたことはとても楽しかったです。

全国大会は早々に参加登録を済ませ、隣県での開催をとても楽しみにしていたのですが、直前に参加できない状況となったことは本当に残念でなりませんでした。しかしJIAマガジンでの正規の(表向きの)大会記録や、今回の実行委員の方々から寄せられた「大会記録ウラ話」を拝読させて頂きながら、参加できなかった私も大会の雰囲気やスタッフメンバーの緊迫した当日の様子を垣間見ることが出来、実際に大会へ参加した気持ちに近づけました。改めて素晴らしい大会であったこと、そして日ごろから培っている九州支部メンバーの仲の良さと結束力の強さを感じ

九州支部広報委員 小嶋 啓美
じ、九州支部の一員であることを誇りに感じました。これも、これまで長きに渡り「JIA九州ブルテン」の紙面において支部の交流が続いてきた事も大きな要因の一つだと感じたところです。

大会にも準備にも参加できなかった私には大したウラ話は無いのですが…、無茶ぶりにも関わらずウラ話原稿を受けて下さった実行委員の皆様への償い意味も込めて、私の心に収めているエピソードを2つ書かせて頂きます。

一つは今回の大会ロゴ「真っ赤な矢印の未来未来デザイン」がとても素敵だったので、自分の分も含めて手ぬぐいを3枚購入して「建築家でないと購入できないのよ」というプレミアを付け、「未来」という名の友人2名への今年のお誕生日プレゼントとして利用させて頂いたこと。もう一つはウェルカムパーティ後のJIAバンドパーティには得意のフルートを鞄に忍ばせておいて、タイミングをみて音楽に参入したいとひそかに企んでいたのですが…、それが出来ず無念だったこと。いつの日かまたの機会があることを願っています。

編集後記

新体制になっての初の発刊となります、ブルテン発刊が大変遅くなり申し訳ありません。

前任の川津さん、有吉さんがこれまでとても素晴らしいブルテンを制作されており、少しプレッシャーを感じつつ、どのようなブルテンにしていくのかを早い段階から広報委員で話し合っておりましたが、不慣れな部分が多くあり、今さらの発刊になりました。すみません。言い訳ですね…

今回は昨年の2024別府全国大会のウラ話を実行委員の

九州支部広報委員 一丸 康貴

方に寄稿をお願いしました。色々な誌面で全国大会の寄稿をされている方もいらっしゃる中、ウラ話などという無茶振り的なお願いをしてしまい、申し訳ありませんでした。各タスクの実行委員の方から寄稿を頂くことで将来の来るべき時に向けての参考になると思います。少しでも皆様が読みたいと思えるブルテンにしていきたいと思いますので、今後ともご協力の程よろしくお願い致します。

編集後記

お待たせしました。広報委員会新体制初のブルテンです。え？待ってない？待ってない方がありがたいです…。と言いますのも遅れに遅れ、いつ発刊するんだとやきもきさせたと思います。大変申し訳ございません。

ブルテンに関わって改めて前任の川津さん、有吉さんの偉大さを実感しております。

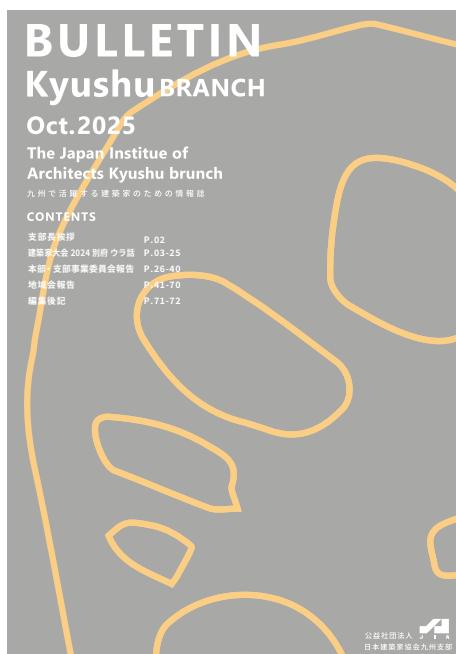
新体制初回は昨年度の建築大会2024別府のウラ話でした。主に実行委員会の皆さんに執筆して頂きました。真面目な報告は発行済みのJIAマガジン等にお任せするとして、本ブルテンは関係者の皆さんのがんばりが見えつつ笑いもあったり、意外な事実も知れたり、思い出や反省点として残り、次回の参考となる内容になったのではないかと思いま

九州支部広報委員 吉永 啓

ます。執筆者の皆様、ご協力ありがとうございました。

また、タイトルがなかった記事は一丸さんがChatGPT(AI)を駆使してタイトルを作ってくれました。一部修正は必要なものの唸るような出来のものもあり面白い体験でした。一丸さんはChatGPTのことを普段から先生と呼んでいて、一丸さんに使い方のコツを教わる私にとっては一丸さんが先生、ChatGPTのことは今後、師匠とお呼びします。

次回からは支部や各地域のことがわかる読んで楽しいブルテンにしていきたいと思っております。会員のどなたかにある日突然執筆の依頼をすることになると思います。今後ともご協力の程、宜しくお願い申し上げます。



2025年10月発行

編集・発行：(公社)日本建築家協会九州支部 広報委員会